

ボルトオンターボ プロキット GT4135

取付説明書



本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。
取付けは必ず専門業者に依頼してください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。
万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商品名	ボルトオンターボ プロキット GT4135
用途	自動車専用部品
コードNo	11001-AT008 : ϕ 100 キャタライザ付き 11001-KT004 : キャタライザ無し 11001-KT006 : ϕ 113 キャタライザ付き
取付説明書品番	E04211-T59042-00
メーカー車種	・トヨタ 86 (DBA-ZN6、4BA-ZN6) グレード GT/GT Limited 及び 17 インチホイール装着車 ・スバル BRZ (DBA-ZC6、4BA-ZC6) グレード R/RA/S/ts/tsGT/GT/STI 及び 17 インチホイール装着車
エンジン型式	FA20
対応年式	・トヨタ 86 2012/4~2021/10 ・スバル BRZ 2012/3~2021/7

※適合車両の年式は 2023 年 8 月現在のものです。

改訂No.	日付	記載変更内容
3-3.01	2021/07	初版
3-3.02	2022/12	記載事項変更
3-3.03	2023/08	記載事項変更

備 考

- 本製品を使用してのエンジン及び補機類等の破損については一切保証をいたしません。
- 本製品には、インジェクタ、燃料ポンプ、制御装置、エンジンプラグは含まれておりません。
- ラジエータサポート・フロントバンパラインホースメント・ファンシュラウド、オイルパン等の加工が必要になります。
- エンジンプラグの焼け具合を確認し、プラグの交換を行ってください。
- エンジン制御装置によるリセッティングが必ず必要となります。
必ず燃料と点火のリセッティングを行ってください。
セッティングを行わない場合、エンジンを破損する恐れがあります。
- エンジンオイルは高温粘度 40 以上を推奨します。
- 本製品のアクチュエータ設定過給圧は約 55~65kPa です。
- 付属の自動車排出ガス試験結果証明書は本書と一緒に大切に保管してください
(11001-AT008 のみ)。
- オイルリターンパイプは溶接が必要です。溶接ができない場合は別売の加工済み
オイルパン(11999-AT001)をご利用ください。
- 遮熱材取付けのためにステンレスワイヤーを使用します。
- スリーボンド TB1324 またはそれに準じた嫌気性封着剤(中強度タイプ)を使用します。

目次

はじめに／本書・製品について／安全上の注意	2
パーツリスト	3
1. ノーマルパーツの取外し	6
2. ノーマルパーツの加工・移動	9
3. オイルインレットの取付け	15
4. ターボチャージャブラケットの取付け	17
5. エキゾーストマニホールドの取付け	19
6. ターボチャージャの組立て	22
7. ターボチャージャとオイルリターンホースの取付け	23
8. エクステンションパイプの取付け(11001-AT008 の場合)	25
8. エクステンションパイプの取付け(11001-KT004 の場合)	27
8. エクステンションパイプの取付け(11001-KT006 の場合)	29
9. カムポジションセンサインシュレータの取付け	32
10. ターボチャージャインシュレータ部品等の取付け	33
11. エアクリーナ、サクションパイプの取付け	37
12. インタークーラの取付け	39
13. パイピングの取付け	41
14. ノーマルパーツの取付け	43
15. 取付け後の確認	45
16. 自動車排出ガス試験結果証明書について	46

はじめに

この度は、HKS ボルトオンターボキットをお買い上げいただきありがとうございます。本製品を安全にご使用いただき、機能を十分に発揮させるために本書をお読みください。取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、安全に使用してください。本書は取付けを行う前に必ず読み、よく理解した上で作業を行ってください。

本書・製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、お客様や第三者への危険や損害を未然に防止するため、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品は自動車専用部品です。用途外の使用は行わないでください。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工、誤使用したことにより受けた損害について当社は一切責任を負いかねます。
- 本製品は日本国内モデルノーマル車両への取付けを基準に開発されています。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



警告

作業員又は使用者が、死亡又は重傷を負う恐れがある場合



注意

作業員又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合(人損)

拡大物損の発生が想定される場合

(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害(例えば車両の破損及び焼損))

パーツリスト

No. 1

連番	品名	数量	備考
P1	ターボチャージャ Assy	1	GT4135
P2	エキゾースト マニホールド	1	
P3	サクションパイプφ80	1	
P4	インタークーラパイプφ60	2	
P5	チャンバパイプφ70	1	
P6	ターボチャージャブラケット No. 1	1	t =9mm
P7	スペーサ φ20	1	段付き
P8	スペーサ φ20	1	
P9	ターボチャージャブラケット No. 2	1	ターボチャージャ下
P10	ターボチャージャブラケット No. 3	1	ターボチャージャ横
P11	オイルインレットホース	1	L=460mm
P12	インレットバンジョウ	1	
P13	チーズ PT1/8	1	
P14	ニップルヘキサゴン	1	
P15	ニップルオイルライン	1	
P16	サーモチューブ φ21	1	
P17	オイルアウトレットパイプ	1	
P18	ガスケット	1	オイルアウトレットパイプ用
P19	オイルリターンパイプ	1	オイルパン溶接用
P20	ホース φ16	1	L=250mm
P21	サーモチューブ φ30	1	L=500mm
P22	ホース φ8	1	L=1250mm (水用)
P23	ガスケット	2	EX マニホールド E/G 側
P24	インタークーラ	1	
P25	インタークーラブラケット No. 1	1	左
P26	インタークーラブラケット No. 2	1	右
P27	インタークーラブラケット No. 3	1	下
P28	インタークーラブラケット No. 4	1	上
P29	スペーサ φ16	2	
P30	エクステンションブラケット	1	
P31	スーパーパワーフロー	1	φ200-80
P32	スーパーパワーフローブラケット No. 1	1	
P33	スーパーパワーフローブラケット No. 2	1	
P34	シリコンホース φ80	2	
P35	シリコンホース φ60	4	
P36	シリコンホース φ70	1	
P37	ホースバンド #52	4	
P38	ホースバンド #48	2	
P39	ホースバンド #40	8	

パーツリスト

No. 2

連番	品名	数量	備考
P40	ホースバンド #28	2	
P41	ホース φ12	1	L=200mm
P42	ジョイントパイプ φ12	1	
P43	インシュレータ φ50 用 L100mm	1	EX マニホールド用
P44	インシュレータ	1	カムポジションセンサ用
P45	スペーサ φ20 L=15mm (内径 M8)	2	
P46	キャップボルト M6 L30	2	
P47	プレートワッシャ M6 大径	2	
P48	フランジボルト M10 L50 7 マーク	2	
P49	六角ボルト M8 L15	8	
P50	プレートワッシャ M8	8	
P51	オイルレベルゲージパイプブラケット No. 1	1	ブラケット本体
P52	オイルレベルゲージパイプブラケット No. 2	1	パイプ押さえ
P53	六角ボルト M6 L10	2	パイプ固定用
P54	プレートワッシャ M6	2	
P55	六角ナット M6	2	フランジナット
P56	六角ボルト M10 L40	2	
P57	プレートワッシャ M10	4	
P58	六角ナット M10	2	
P59	スタッドボルト M8 13-9-16	9	
P60	ロックナット M8	4	
P61	フランジボルト M8 L10	1	
P62	フランジボルト M8 L15	5	
P63	フランジナット M8	2	
P64	フランジボルト M6 L35	2	
P65	フランジナット M6	5	
P66	フランジボルト M6 L15	5	
P67	ホースクランプ 刻印 230	2	
P68	ホースクランプ 刻印 130	3	
P69	ホースクランプ 刻印 180	3	
P70	ホースクランプ 刻印 138	1	
P71	ホースクランプ 刻印 115	3	
P72	ゴムキャップ φ16	1	
P73	ボタンボルト M4 L10	2	
P74	タイラップ 大	10	
P75	タイラップ 中	10	
P76	スポンジシート 50mm×50mm	5	
P77	遮熱シート 70mm×1000mm	1	
P78	遮熱シート 300mm×300mm	2	

パーツリスト

No. 3

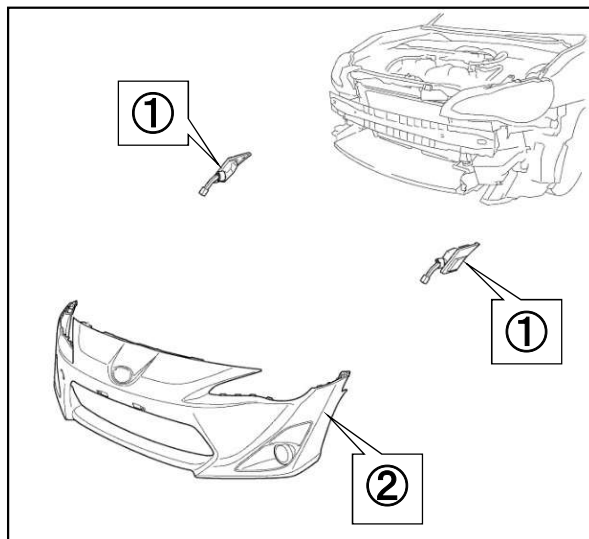
連番	品名	数量	備考
P79	バンジョウボルト M10 P1.25	1	ターボオイルインレットバンジョウ
P80	銅ワッシャ φ12×φ17	1	上側
P81	銅ワッシャ φ10×φ17	1	下側
P82	水ラインパイプ	1	
P83	ガスケット	1	GT4135 専用メタルガスケット
P84	六角穴付 (HEX) ボタンボルト M6 L20	2	
P85	ガスケット	1	EX マニホールド T/C 側
P86	ガスケット	1	EX テンション T/C 側
P87	取付説明書	1	本書
P88	取扱説明書	1	
P89	フランジボルト M6 L10	2	
P90	ロックナット M8	5	
	11001-AT008 の場合 [φ100 キャタライザ]		
P91	エクステンションパイプ	1	キャタライザ付 排ガス適合プレート付
P92	ガスケット	1	エクステンションパイプ マフラー側
P93	インシュレータ φ100 用 No.1	1	ターボチャージャ用上側
P94	インシュレータ φ100 用 No.2	1	ターボチャージャ用下側
P95	フランジボルト M6 L10	4	
P96	自動車排出ガス試験結果証明書	1	
	11001-KT004 の場合 [キャタライザ無し]		
P97	エクステンションパイプ	1	キャタライザ無し
P98	ガスケット	1	エクステンションパイプ マフラー側
P99	インシュレータ No.1	1	ターボチャージャ用
P100	インシュレータ φ60 用 L120mm	1	エクステンションパイプ用
P101	ホースバンド #40	2	
	11001-KT006 の場合 [φ113 キャタライザ]		
P102	エクステンションパイプ	1	キャタライザ付き
P103	ガスケット	1	エクステンションパイプ マフラー側
P104	インシュレータ No.1	1	ターボチャージャ用
P105	インシュレータ φ113 用 No.1	1	キャタライザ用 大
P106	インシュレータ φ113 用 No.2	1	キャタライザ用 小
P107	インシュレータ φ60 用 L120mm	1	エクステンションパイプ用
P108	ホースバンド #64	2	
P109	ホースバンド #40	2	

1. ノーマルパーツの取外し

整備要領書に従って作業を行う。

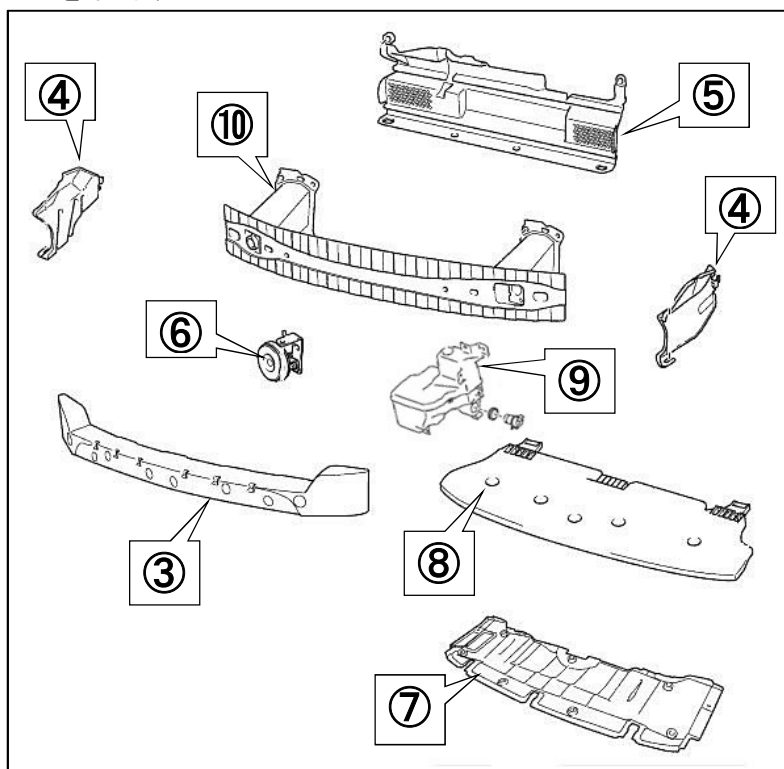
パーツリスト			
右表の No. は 2~4 ページのパーツリストの連番に対応します。	No.	品名	数量
		P72	ゴムキャップ φ16

- (1) バッテリのマイナス端子接続を取外す。
- (2) エンジンアンダーカバーを取外す (再使用部品)。
- (3) ①サイドターンシグナルランプを左右取外す。
(再使用部品)。
- (4) ②フロントバンパを取外す (再使用部品)。
- (5) エンジンオイル、クーラントを抜く。



- (6) ③フロントバンパエネルギーブソーバを取外す
(加工後再使用部品)。

- (7) ④フロントバンパラインホースメントプレート左右を取外す。
- (8) ⑤ラジエータカバープレートを取外す。



- (9) ⑥ホーンを取外す (再使用部品)。
- (10) ⑦フロントバンパカバーLWR を
取外す (再使用部品)。
- (11) ⑧フロントバンパステーブラケットを取外し (再使用部品)、それを支えているフロントバンパステーを取外す (加工後再使用部品)。

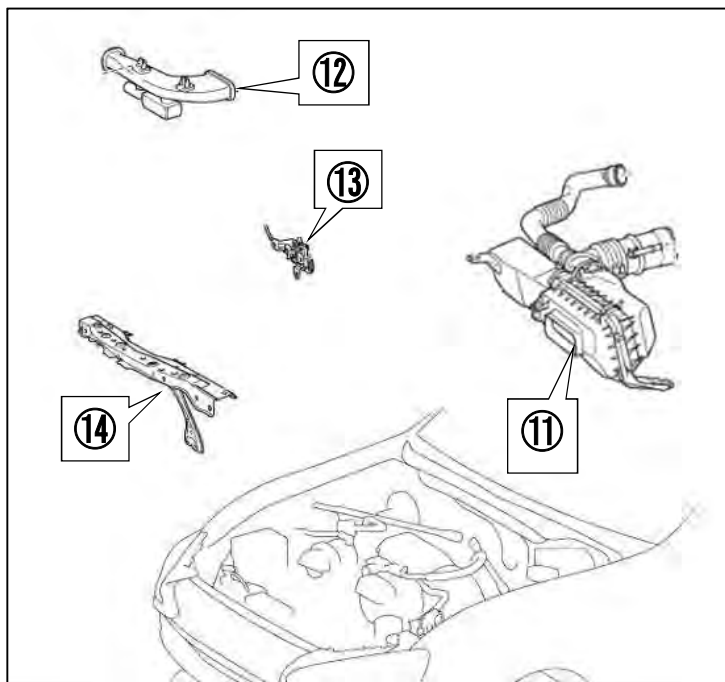
- (12) ⑨ウォッシュタンクをずらし、⑩フロントバンパラインホースメント SUB-ASSY を取り外す
(加工後再使用部品)。

(13) ⑪エアクリナーケース SUB-ASSY を
取外す。

(14) ⑫エアクリナーダクトを取外す。

(15) ⑬フードロックをラジエータサポ
ート SUB-ASSY から取外す（再使用
部品）。

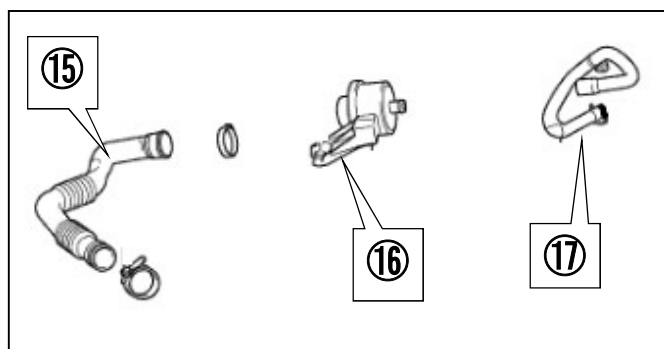
(16) ⑭ラジエータサポート SUB-ASSY を
取外す（加工後再使用部品）。



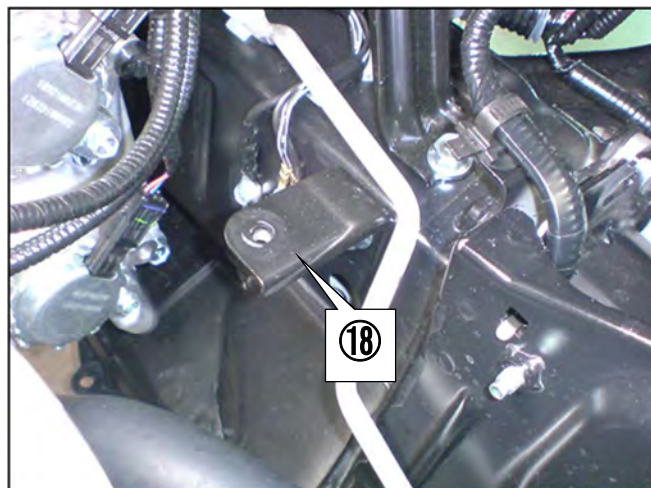
(17) ⑮エアクリナーダクト・⑯チャンバ・
⑰ホースを取外す。

(18) ⑰ホースを取外した箇所にゴムキャップ
φ16 を取付ける。

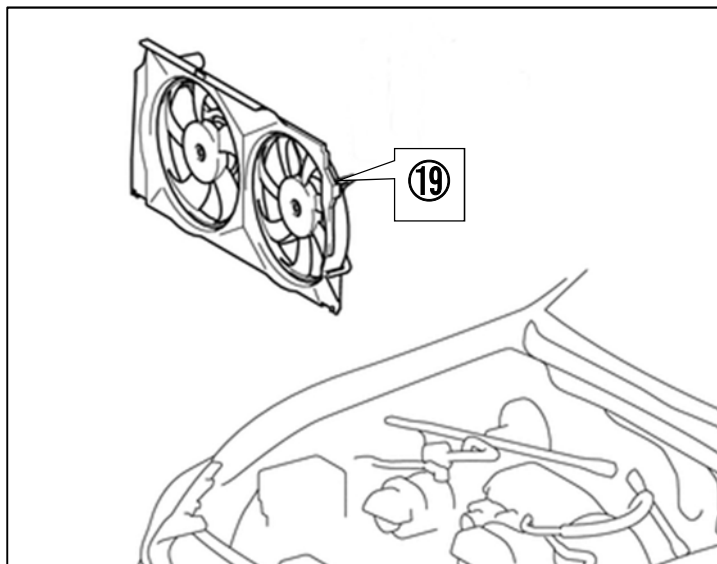
・P72 ゴムキャップ φ16 ×1



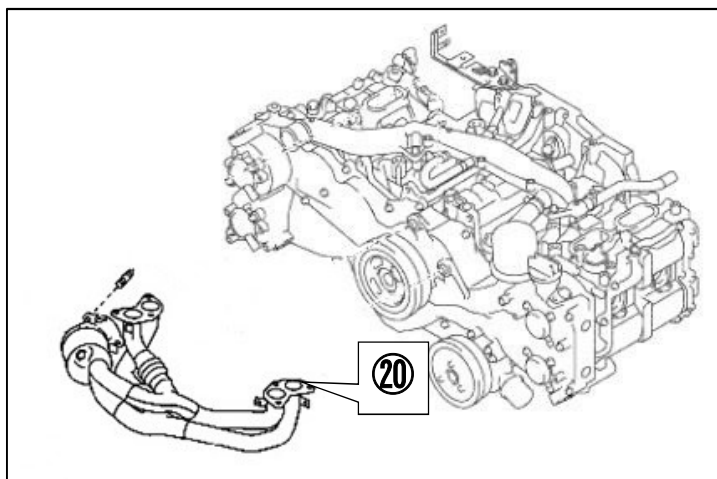
(19) ⑱エアクリナーケースブラケットを取外す。
外したボルトは再使用する。



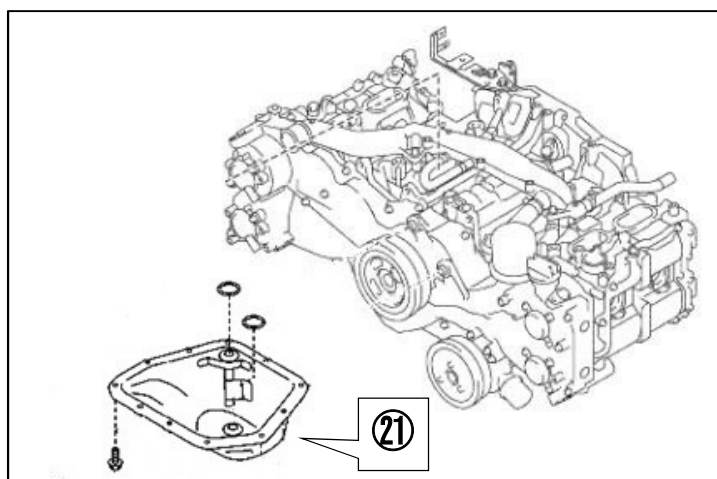
(20) ⑱ファンシュラウドを取外す
(加工後再使用部品)。



(21) ⑳エキゾーストマニホールドを取外す。
外したナットは再使用する。



(22) ㉑オイルパンを取外す
(加工後再使用部品)。
外したボルトとパッキンは再使用する。



2. ノーマルパーツの加工・移動

パーツリスト			
No.	品名	数量	
P2	エキゾーストマニホールド	1	
P19	オイルリターンパイプ	1	
P23	ガスケット	2	
P65	フランジナット M6	1	
P66	フランジボルト M6 L15	1	
P68	ホースクランプ 刻印 130	1	
P69	ホースクランプ 刻印 180	1	
P70	ホースクランプ 刻印 138	1	
P71	ホースクランプ 刻印 115	3	
P75	タイラップ 中	3	
P78	遮熱シート 300mm×300mm	1	

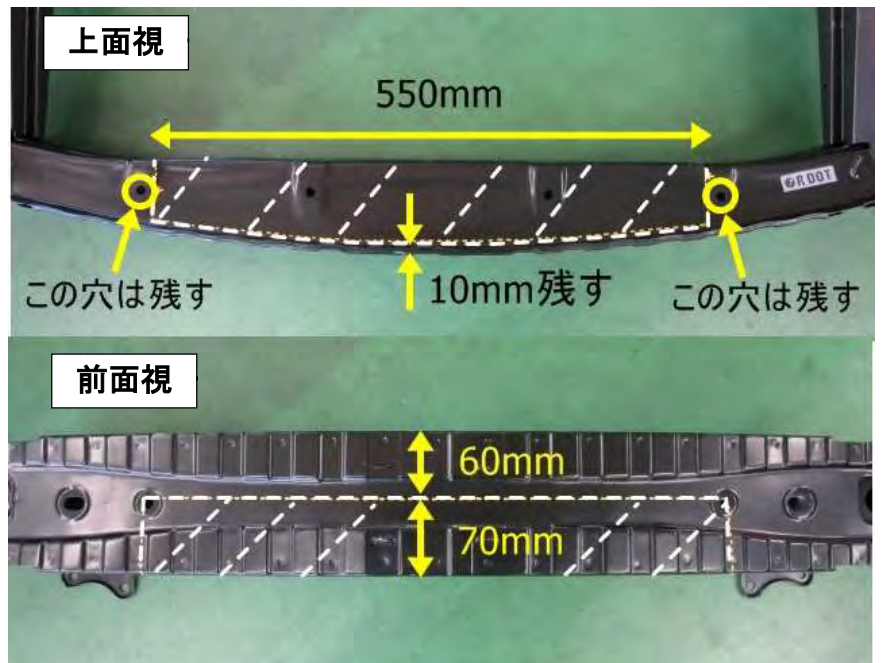
(1) フロントバンパラインホースメント SUB-ASSY を切断する。

アドバイス

インタークーラの干渉を避けるための加工
 フロントバンパラインホースメント SUB-ASSY のセンタ出しを行い、図の寸法で切断する。

図を参照し上面にある穴は残す。(インタークーラブラケット取付けに使用する。)

加工後は切断面のバリを取除き、塗装等防錆処理をする。



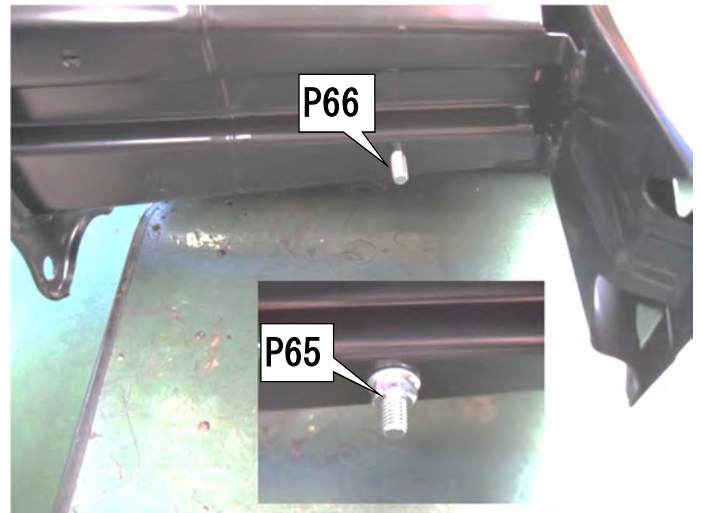
- (2) フロントバンパインホースメント SUB-ASSY 右側面の穴に裏側からボルトを通し、ナットを取付ける。

- ・ P65 フランジナット M6 ×1
- ・ P66 フランジボルト M6 L15 ×1

アドバイス

ホーン取付け用

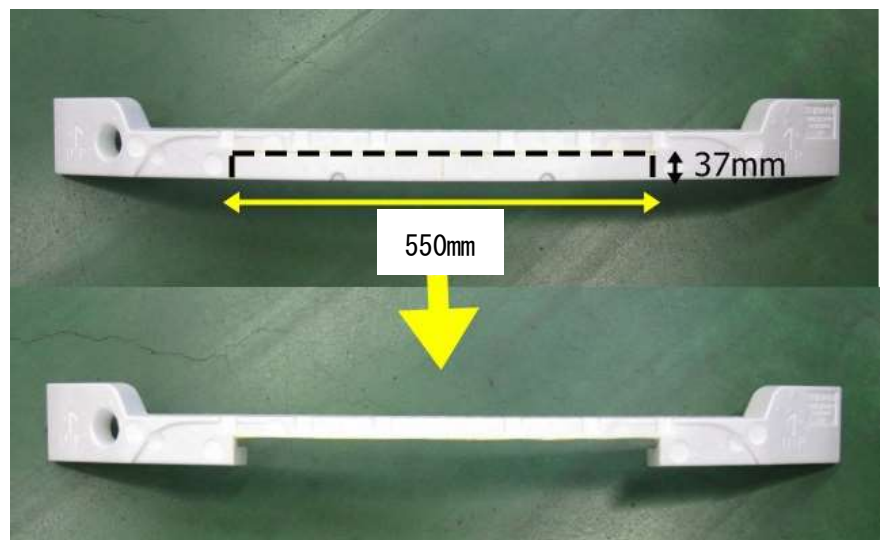
フランジボルトはマグネットハンド等を利用すると作業しやすい。



- (3) フロントバンパエネルギーブソーバを切断する。

アドバイス

裏側のリブに沿って切断すると作業がしやすい。



- (4) フロントバンパステーを加工する。

アドバイス

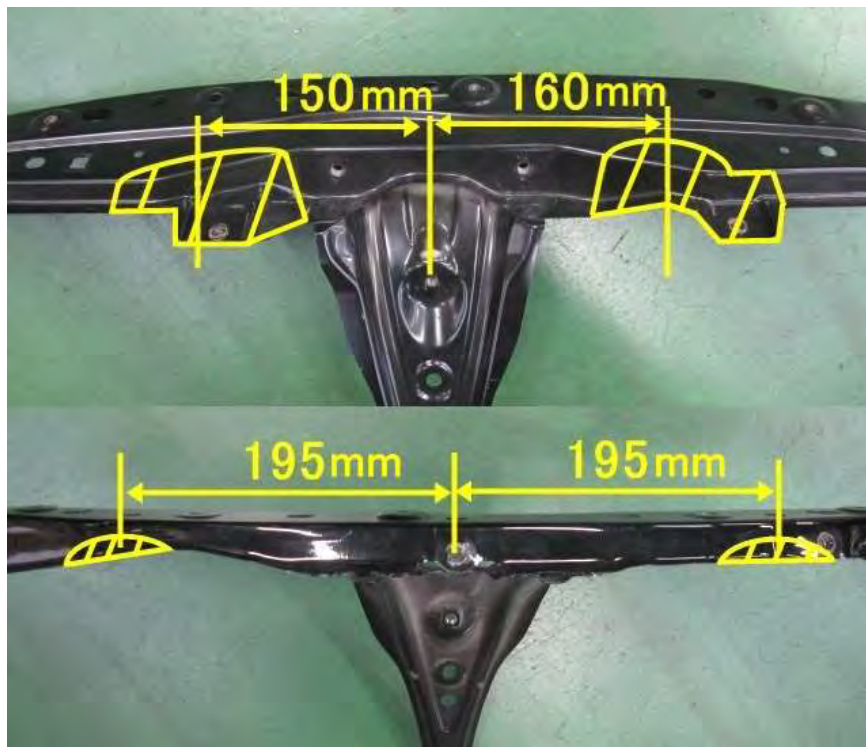
インタークーラブラケットを固定するための加工



- (5) ラジエータサポートを切斷する。

アドバイス

インタークーラパイプとの干渉を避けるための加工



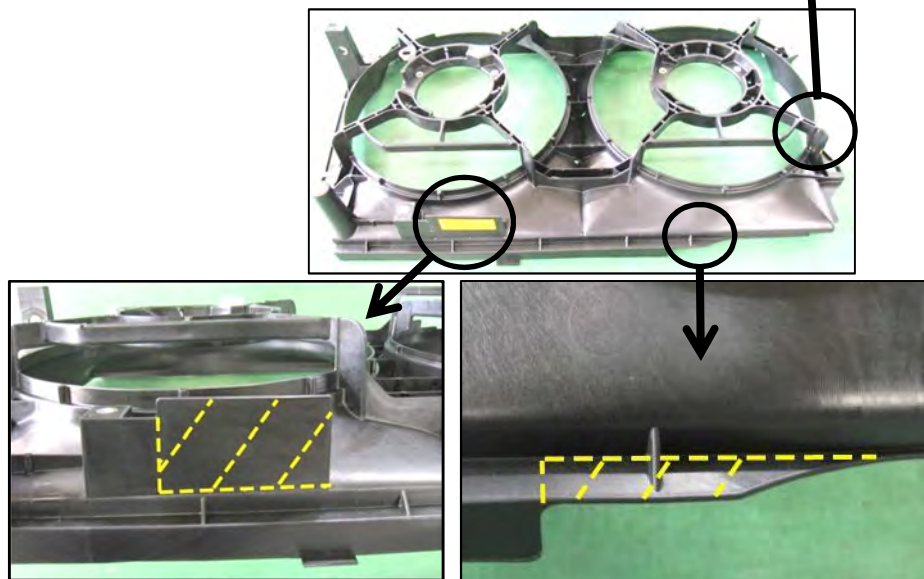
- (6) ファンシュラウドを3ヶ所切斷する。

アドバイス

スーパーパワーフローとパイピングの干渉を避ける加工



- (7) 加工が終了したファンシュラウドを取付ける。



(8) 遮熱シートを適度な大きさに切り配線に巻き、ワイヤー等で固定する。

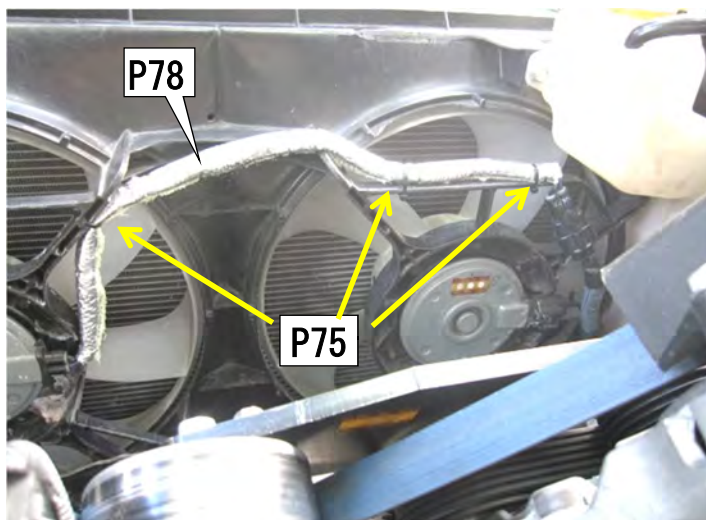
- ・ P78 遮熱シート 300mm×300mm ×1

(9) 電動ファンの配線は図のようにレイアウトを変更し、タイラップで固定する。

- ・ P75 タイラップ 中 ×3

アドバイス

ファンシュラウド中央部の配線は後に取付けるラジエータサポートの裏側にレイアウトする。



(10) オイルパンを車両から外す。

外したオイルパンは加工後再使用する。

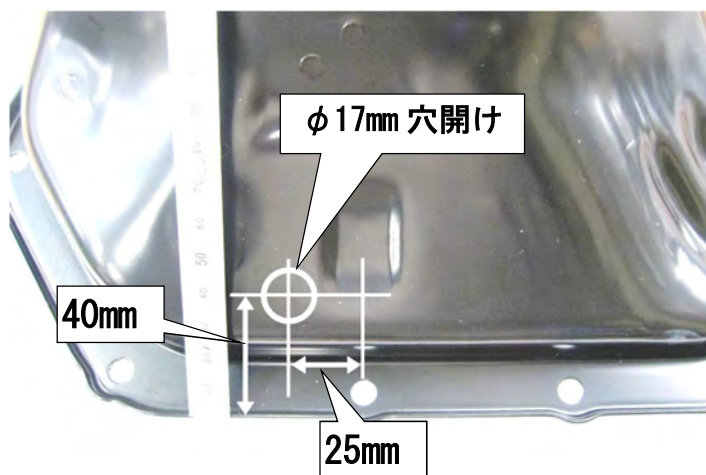
アドバイス

オイルパンを変形させないように取外す。

(11) オイルパンの図の位置にφ17mmの穴を開ける。

アドバイス

図中の40mmは物差しで取付けフランジ部端面からの距離を測定する。



(12) オイルパンを仮付けし、ガスケットを介してエキゾーストマニホールドを仮付けする。

- ・ P2 エキゾーストマニホールド ×1
- ・ P23 ガスケット ×1

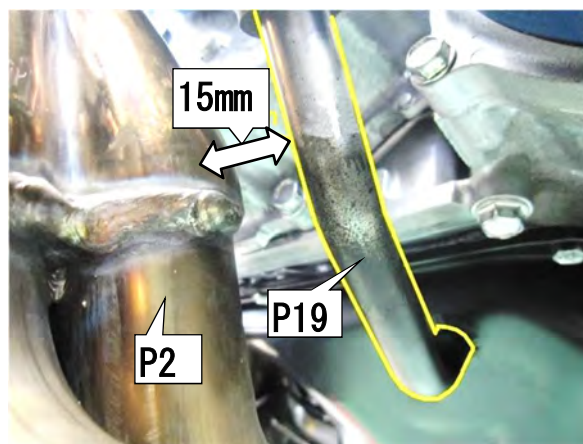
(13) オイルリターンパイプの位置出しをし、マーキング又は仮止めする

- ・ P19 オイルリターンパイプ ×1

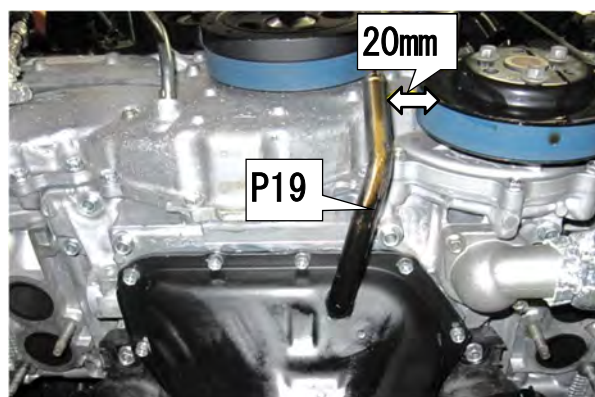


位置出しの方法

- ・エキゾーストマニホールドとのクリアランス 15mm



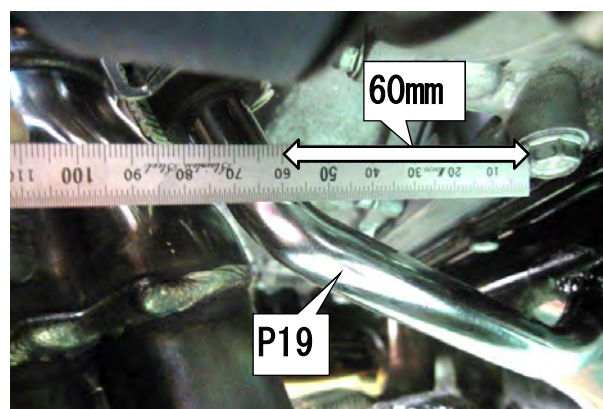
- ・Vベルト/ウォーターポンププーリーとのクリアランス 20mm



- ・図中ボルトからの距離 60mm

アドバイス

オイルリターンパイプの先端は抜け止め加工に当たるまでオイルパンに差し込む。



- (14) オイルパンを外し、オイルリターンパイプとオイルパンを溶接する。

アドバイス

仮溶接で再度装着し、クリアランスを入念に確認する。
オイルパン溶接部周辺の塗装をサンドペーパー等で落としておくと作業しやすい。
溶接部からの漏れが無いが入念に確認しておく。

- (15) 溶接部に塗装等の防錆処理をする。乾燥後に清掃又は洗浄する。

アドバイス

エンジン内に異物が混入すると破損の原因となるので、バリ、切粉、異物は除去する。

- (16) オイルパンとエンジンの取付け面はスクレーパ等で清掃してから脱脂し、液状ガスケット 1217G を使用して装着する。

アドバイス

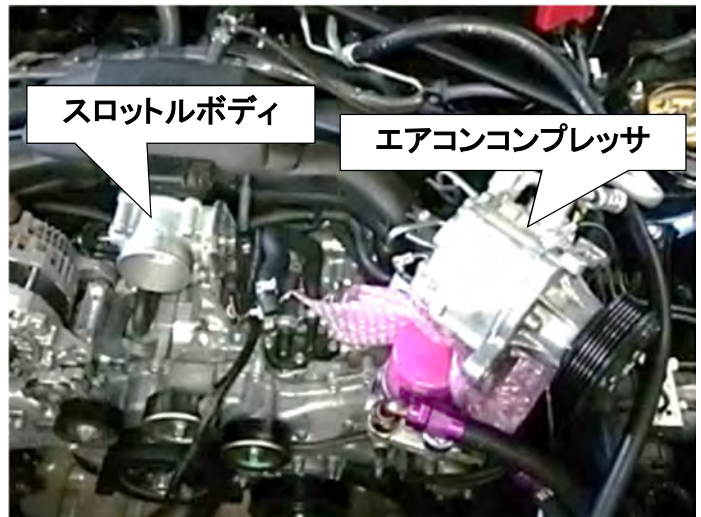
純正ボルト、パッキンは再使用する。

(17) エキゾーストマニホールドは一旦外しておく。

(18) エアコンコンプレッサの取付けボルトを取外しインテークマニホールド下で作業が行いやすい位置に移動する。

アドバイス

配管は取外さない。



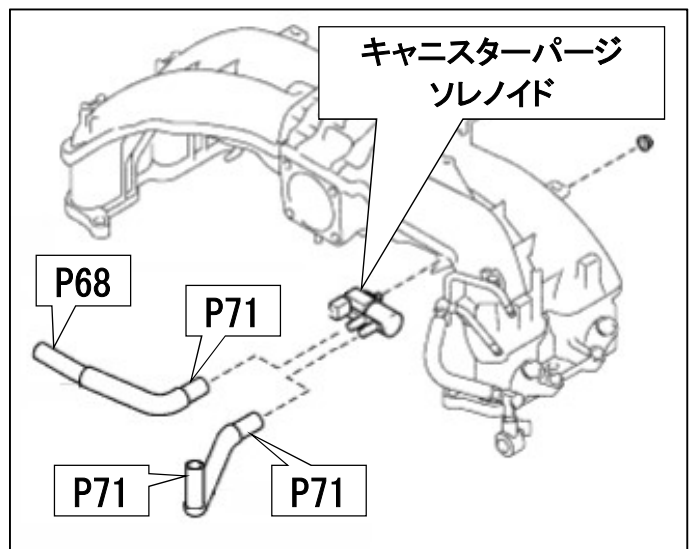
(19) スロットルボディの取付けボルトを取外し、インテークマニホールド下で作業が行いやすい位置に移動する。

アドバイス

水配管は取外さない。

(20) キャニスターパージソレノイドをインテークマニホールドから取外し、配管にホースクランプを取付ける。

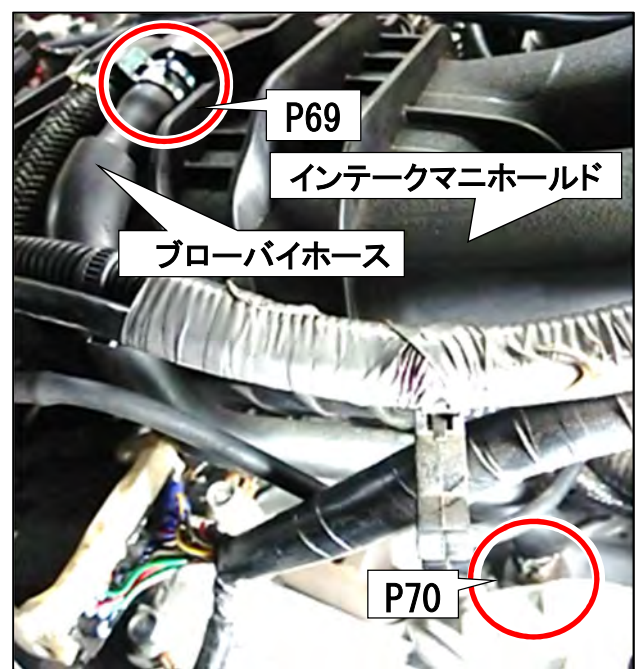
- ・ P68 ホースクランプ 刻印 130 × 1
- ・ P71 ホースクランプ 刻印 115 × 3



(21) キャニスターパージソレノイド、スロットルボディ、エアコンコンプレッサを元の位置に取付ける。




(22) ブローバイホースにホースクランプを取付ける。

- ・ P69 ホースクランプ 刻印 180 × 1
- ・ P70 ホースクランプ 刻印 138 × 1



3. オイルインレットの取付け

※取付け前に各部品をエアブローし、異物混入を防止してください。

パーツリスト			
No.	品名	数量	
P11	オイルインレットホース	1	
P12	インレットバンジョウ	1	
P13	チーズ PT1/8	1	
P14	ニップルヘキサゴン	1	
P15	ニップルオイルライン	1	
P16	サーモチューブ φ21	1	

注意

- オイルライン組立ての際、シールテープは使用しないでください。また、液状ガスケットの使用は最小限にしてください。ターボチャージャのオイルラインを塞いだ場合、ターボチャージャを破損させる恐れがあります。
- オイルインレットホースを固定するときは、オイルインレットホースのカシメ部分がきつく曲げられたり無理な力が加わらないように固定してください。きつく曲げられたり無理な力が加えられた状態、また、エンジン振動などで繰返し曲げが加わる状態で使用し続けると、オイルインレットホースが破損してオイルが漏れ、最悪の場合車両火災が起きる恐れがあります。

(1) エンジンブロックからオイルプレッシャスイッチを取外す。

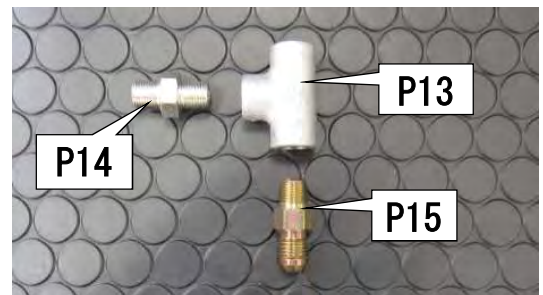
(2) チーズにニップルヘキサゴンとニップルオイルラインを取付ける。PT ネジ部には脱脂後スリーボンド TB1324を薄く塗布する。

- ・P13 チーズ PT1/8 ×1
- ・P14 ニップルヘキサゴン ×1
- ・P15 ニップルオイルライン ×1

アドバイス

PT ネジの締め過ぎは、相手部品の損傷に繋がるので、締め過ぎに注意する。

オイルラインが目詰まりしない様、スリーボンド TB1324 はオイル流路にはみ出さない様に塗布する。



(3) (2)で組み立てた部品のPTネジ部を脱脂してスリーボンドTB1324を薄く塗布し、エンジンに取付ける。

(4) (1)で外したオイルプレッシャスイッチのPTネジ部を脱脂してスリーボンドTB1324を薄く塗布し取付ける。

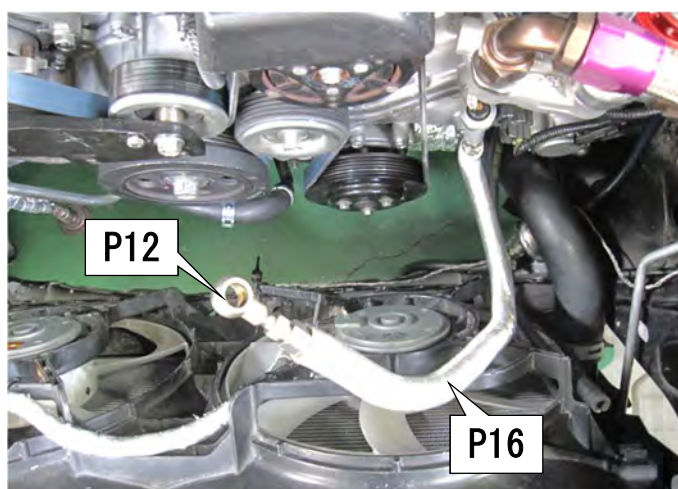
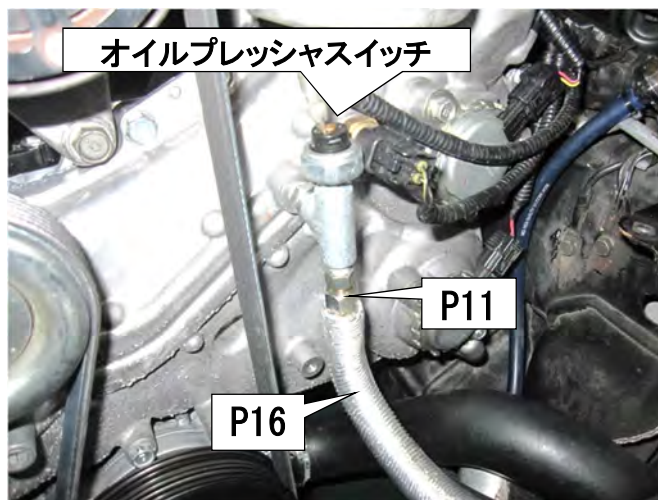
(5) オイルインレットホースを取付ける。
・P11 オイルインレットホース ×1

(6) サーモチューブφ21を450mmに切断し、ホースに被せる。
・P16 サーモチューブφ21 ×1

(7) インレットバンジョウを取付ける
・P12 インレットバンジョウ ×1

アドバイス

インレットバンジョウはターボチャージャ Assy 取付け後に接続するので、仮付けしておく。

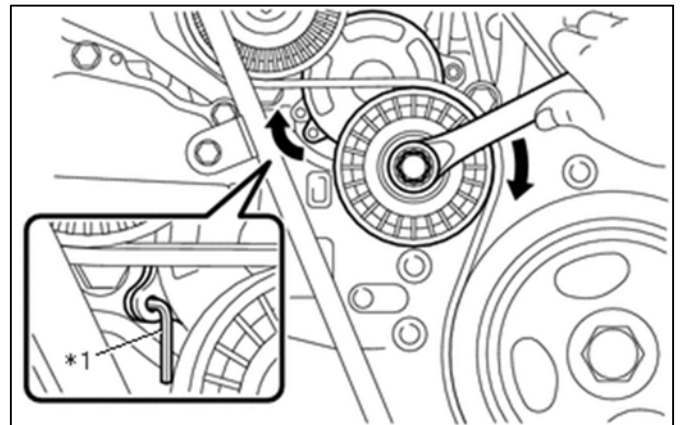


4. ターボチャージャブラケットの取付け

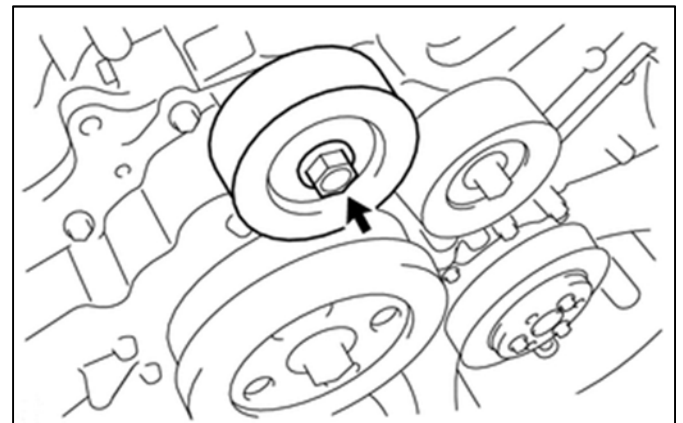
パーツリスト

No.	品名	数量
P6	ターボチャージャブラケット No. 1	1
P7	スペーサ φ20 段付き	1
P8	スペーサ φ20	1
P48	フランジボルト M10 L50 7 マーク	2
P89	フランジボルト M6 L10	1

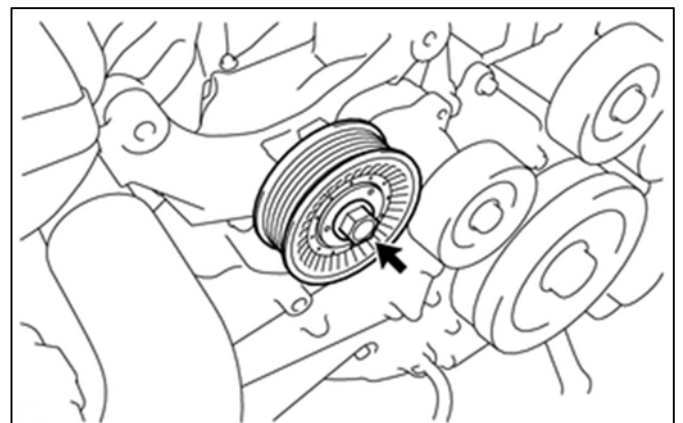
- (1) ベルトテンショナのボルトに工具をかけ、ベルトを緩め、3mm のアレンキー等で固定しておく。



- (2) アイドラプーリ No. 1 を取外す。
アイドラプーリカバーとワッシャは再使用する。



- (3) アイドラプーリ No. 2 を取外す
アイドラプーリカバーとワッシャは再使用する。



- (4) ターボチャージャブラケット No. 1、スペーサ、アイドラプーリカバー（純正再使用）とアイドラプーリを M10 ボルトで組付ける。

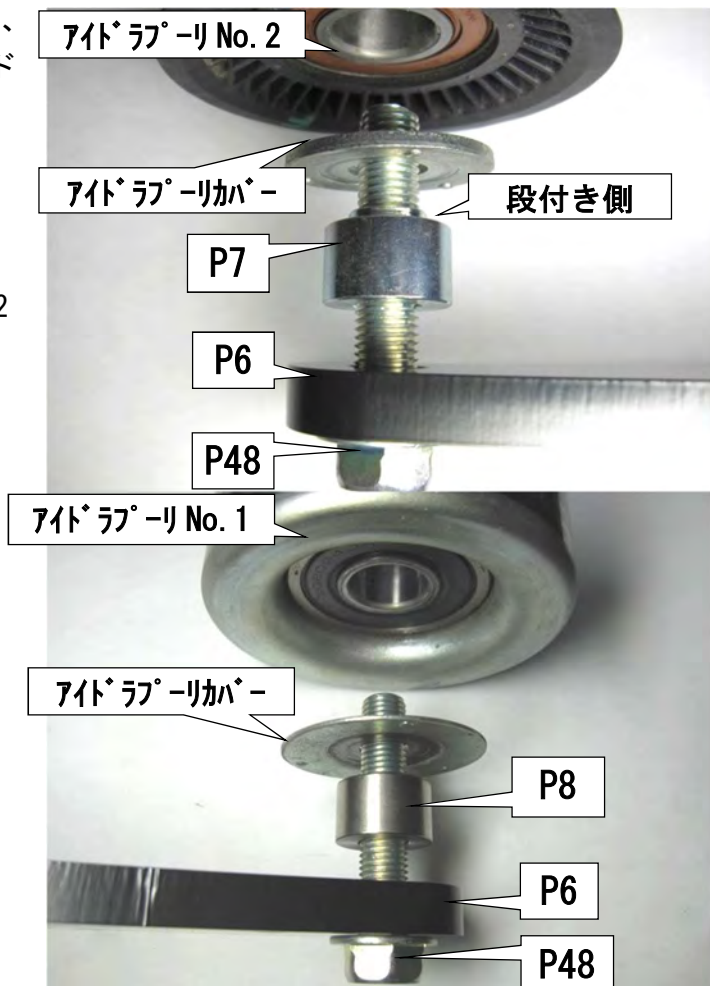
- ・ P6 ターボチャージャブラケット No. 1 ×1
- ・ P7 スペーサ φ20 段付き ×1
- ・ P8 スペーサ φ20
- ・ P48 フランジボルト M10 L50 7 マーク ×2

アドバイス

スペーサの段付きの向きに注意する。

締付トルク N・m (kgf・m)

M10 : T=36 (3.7)



- (5) フランジボルト M6 L10 を仮付けしておく

- ・ P89 フランジボルト M6 L10 ×1

アドバイス

後の作業でインシュレータを取付けるためのボルト。

ターボチャージャ Assy 取付け後に作業スペースが狭いため、先に仮付けしておく。



- (6) ベルトが全てのプーリーにかかっている事を確認し、ベルトテンショナを固定しているアレキシーを外し、ベルトを元の張っている状態に戻す。



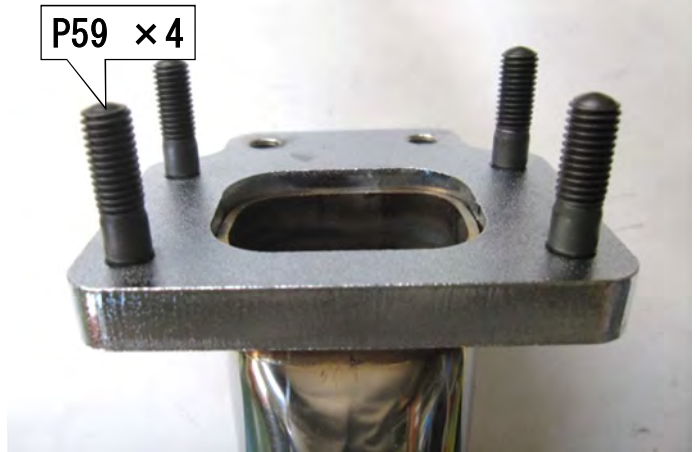
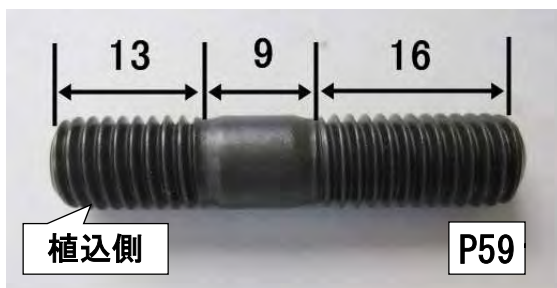
5. エキゾーストマニホールドの取付け

パーツリスト

No.	品名	数量
P2	エキゾーストマニホールド	1
P9	ターボチャージャブラケット No. 2	1
P23	ガスケット	2
P30	エクステンションブラケット	1
P40	ホースバンド#28	2
P43	インシュレータφ50用 L100mm	1
P49	六角ボルト M8 L15	4
P50	プレートワッシャ M8	4
P51	オイルバルゲージパイプブラケット No. 1	1
P52	オイルバルゲージパイプブラケット No. 2	1
P53	六角ボルト M6 L10	2
P54	プレートワッシャ M6	2
P55	六角ナット M6 フランジナット	2
P59	スタッドボルト M8 13-9-16	4
P78	遮熱シート 300mm×300mm	1

(1) エキゾーストマニホールドにスタッドボルトを取付ける。

・ P59 スタッドボルト M8 13-9-16 ×4



(2) エキゾーストマニホールドにインシュレータを取付ける。

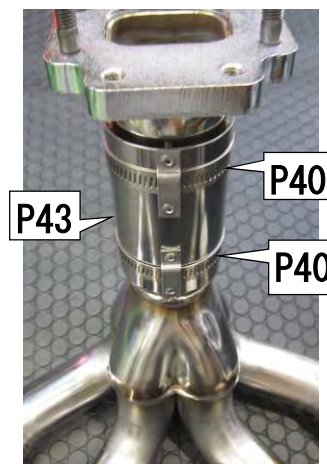
・ P40 ホースバンド#28 ×2

・ P43 インシュレータ φ50用 L100mm ×1

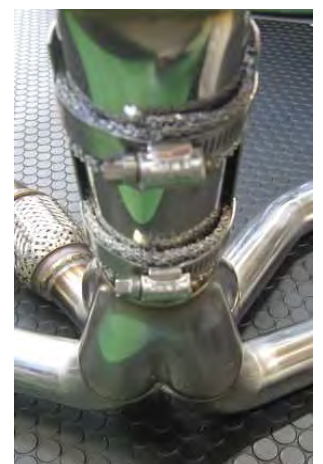
アドバイス

エンジン側にインシュレータを向ける。

SUS メッシュの上からホースバンドで取付ける。



エンジン側



ラジエータ側

- (3) 遮熱シートを適度な大きさに切り、ラジエータ
アウトレットホースに巻き、ワイヤー等で
固定する。

・ P78 遮熱シート 300mm×300mm ×1

アドバイス

エキゾーストマニホールドの近接部に遮熱
対策をする。



- (4) ガasketを介しエキゾーストマニホールド
を純正ナットで仮付けする。
エクステンションブラケットはフランジと
共締めする。

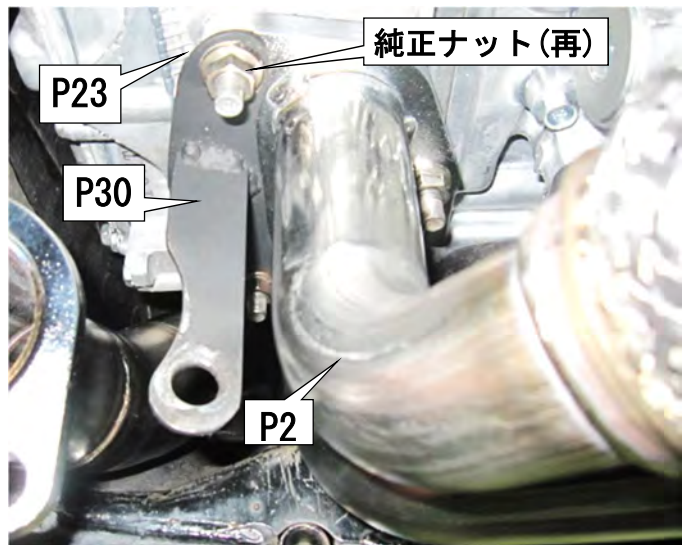
・ P2 エキゾーストマニホールド ×1

・ P23 ガasket ×2

・ P30 エクステンションブラケット ×1

アドバイス

エクステンションパイプを取付け後、本締め
すると位置出ししやすい。

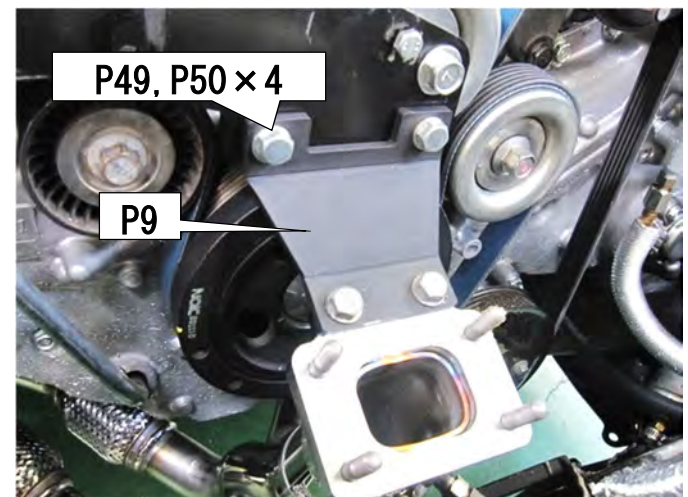


- (5) タービン側フランジにターボチャージャブラ
ケット No. 2 を仮付けする。

・ P9 ターボチャージャブラケット No. 2 ×1

・ P49 六角ボルト M8 L15 ×4

・ P50 プレートワッシャ M8 ×4



- (6) エキゾーストマニホールド、ターボチャージャブラケット No. 2 の位置を決めながら本締めする。

アドバイス

ガasketをエキゾーストマニホールドのタービン側フランジに組付け、ターボチャージャ
ブラケット No. 2 との干渉のないことを確認する。

- (7) オイルレベルゲージパイプを切断するため、取外す。

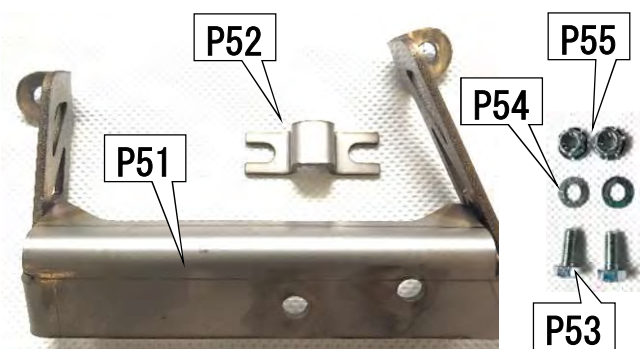
- (8) 純正オイルレベルゲージパイプの取付けブラケットを取付けボルト座面から約 40mmのところで切断し、切断面を防錆する。切断後、怪我をしないようにバリを取り、パイプの内部等に切削くずや異物が無いことを確認する。



- (9) (8) で加工したオイルレベルゲージの内部に異物が無いことを確認する。Oリングに損傷や異物の付着がないことを確認し、新品のエンジンオイルを薄く塗布して、Oリング部をエンジンに取付ける。

- (10) オルタネータプリーカバーにオイルレベルゲージパイプブラケット No. 1 を純正ボルトで共締めする。

- ・ P51 オイルレベルゲージパイプブラケット No. 1 × 1



- (11) オイルレベルゲージパイプを、オイルレベルゲージパイプブラケット No. 2 に取り付ける。

- ・ P52 オイルレベルゲージパイプブラケット No. 2 × 1
- ・ P53 六角ボルト M6 L10 × 2
- ・ P54 プレートワッシャ M6 × 2
- ・ P55 六角ナット M6 フランジナット × 2



- (12) オイルレベルゲージパイプの O リング側がエンジンから抜け出していないことを確認し、レベルゲージを挿入する。

6. ターボチャージャの組立て

※取付け前に各部品をエアブローし、異物混入を防止してください。

パーツリスト

No.	品名	数量
P1	ターボチャージャ Assy	1
P17	オイルアウトレットパイプ	1
P18	ガスケット	1
P59	スタッドボルト M8 13-9-16	5
P66	フランジボルト M6 L15	2
P82	水ラインパイプ	1
P83	ガスケット	1
P84	六角穴付 (HEX) ボタンボルト M6 L20	2

(1) ターボチャージャ Assy にガスケットを介し
オイルアウトレットパイプ及び水ライン
パイプを取付ける。

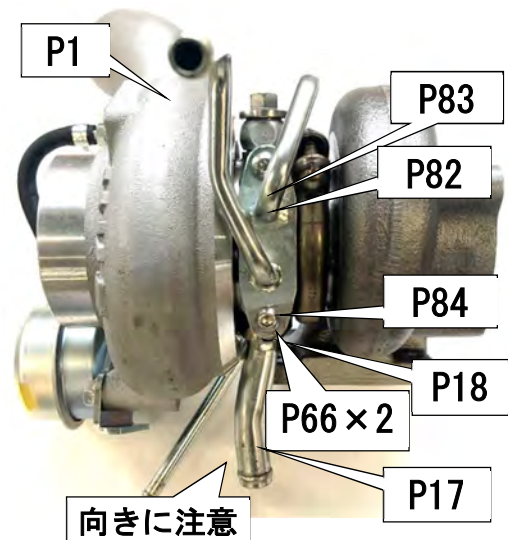
- ・ P1 ターボチャージャ Assy × 1
- ・ P17 オイルアウトレットパイプ × 1
- ・ P18 ガスケット × 1
- ・ P66 フランジボルト M6 L15 × 2
- ・ P82 水ラインパイプ × 1
- ・ P83 ガスケット × 1
- ・ P84 六角穴付 (HEX) ボタンボルト M6L20 × 2

アドバイス

オイルアウトレットパイプの向きに注意する。

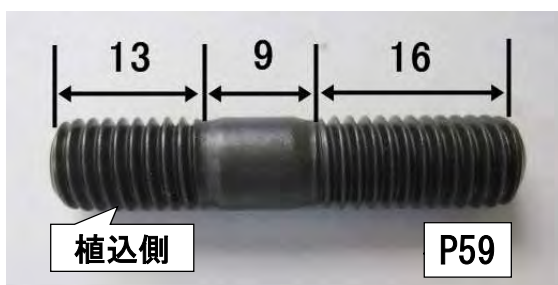
締付トルク N・m (kgf・m)

M6 : T=8.5~10 (0.8~1.0)



(2) ターボチャージャ Assy にスタッドボルトを取付ける。

- ・ P59 スタッドボルト M8 13-9-16 × 5



7. ターボチャージャとオイルリターンホースの取付け

※取付け前に各部品をエアブローし、異物混入を防止してください。

パーツリスト			
No.	品名	数量	
P20	ホースφ16	1	
P21	サーモチューブ φ30	1	
P60	ロックナット M8	4	
P67	ホースクランプ 刻印 230	2	
P85	ガスケット	1	

(1) ホースφ16を195mmに切断する。

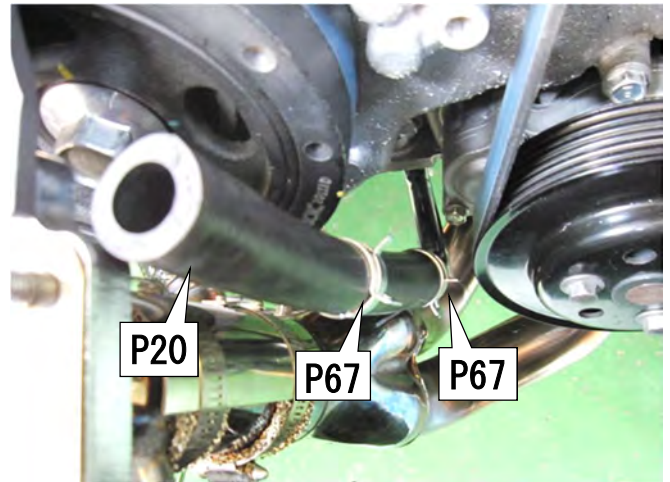
- ・P20 ホースφ16 ×1

(2) 2-(14)で取付けたオイルリターンパイプに(1)で加工したホースφ16を取付け、ホースクランプ 刻印 230を取付ける。

- ・P67 ホースクランプ 刻印 230 ×2

アドバイス

ターボチャージャ Assy 側のホースクランプは仮付けしておく。



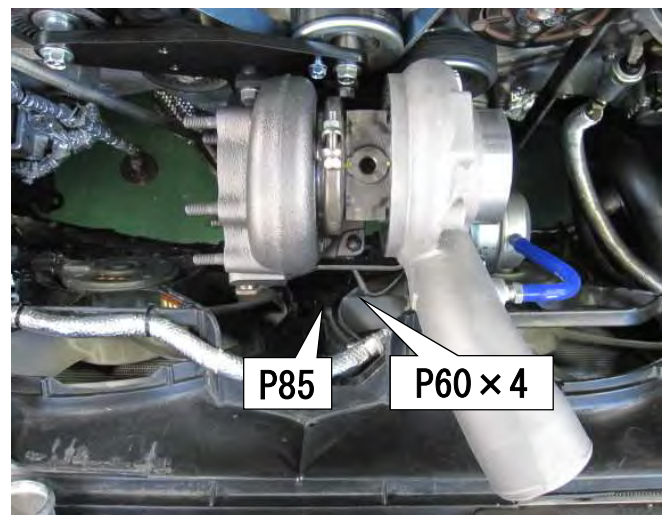
(3) 6で組立てたターボチャージャ Assy をガスケットを介しエキゾーストマニホールドに取付け、ロックナットで締め付ける。

- ・P60 ロックナット M8 ×4
- ・P85 ガスケット ×1

(右図はロックナットが見えにくいため水ラインパイプはついていない)

アドバイス

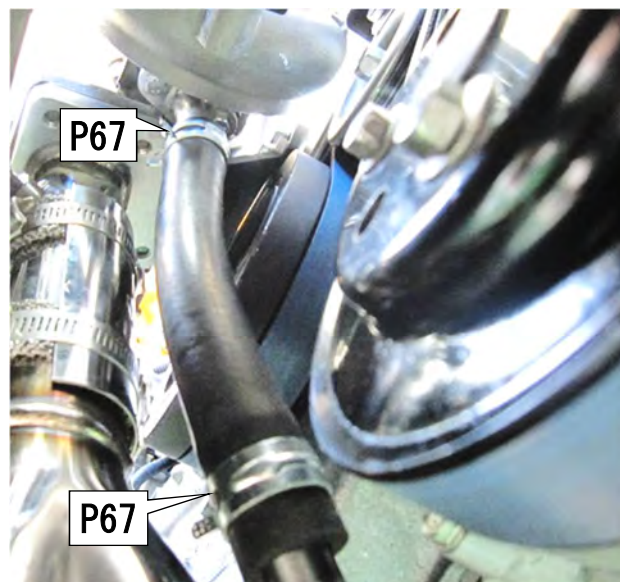
ターボチャージャをロックナットで締め付ける際、ターボチャージャブラケット (P9) と干渉していないことを確認し、締め付けること。



- (4) (2) で取付けたホースφ16 をターボチャージャ Assy のオイルアウトレットパイプに取付け、ホースクランプ 刻印 230 を取付ける。

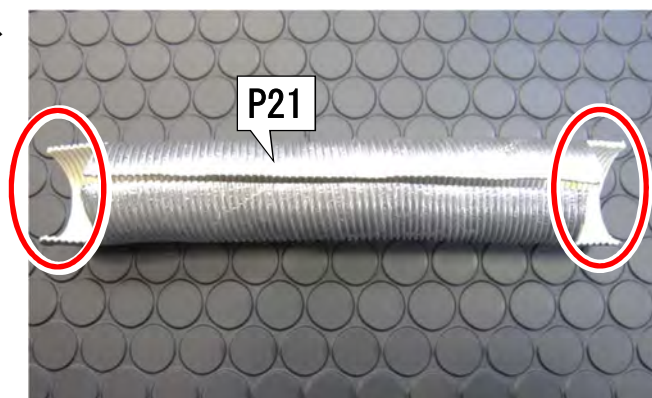
アドバイス

ホースとエキマニ、プーリー、ベルトが干渉しない様に取付ける。



- (5) サーモチューブ φ30 を 195mm に切断し、ホースクランプの爪部分の逃げ加工をする。

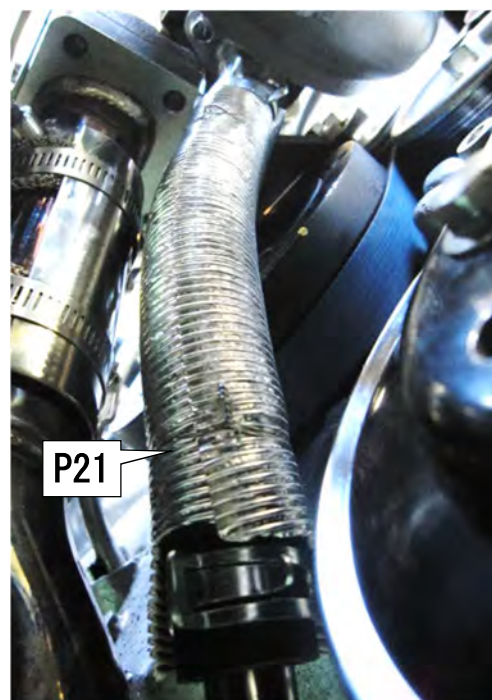
・ P21 サーモチューブ φ30 ×1



- (6) (5) で加工したサーモチューブをホースに被せ、ワイヤー等で固定する。

アドバイス

ホースとエキマニ、プーリー、ベルトが干渉しない様に取付ける。

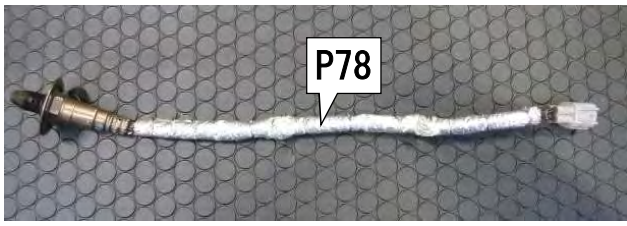


エクステンションパイプの取付け内容は、商品コード No. ごとに異なります。
 お買い求めいただいた商品コード No. をご確認のうえ、取付け作業を行ってください。

8. エクステンションパイプの取付け（11001-AT008 の場合）

パーツリスト			
No.	品名	数量	
P10	ターボチャージャブラケット No. 3	1	
P49	六角ボルト M8 L15	4	
P50	プレートワッシャ M8	4	
P56	六角ボルト M10 L40	2	
P57	プレートワッシャ M10	4	
P58	六角ナット M10	2	
P78	遮熱シート 300mm×300mm	1	
P86	ガスケット	1	
P89	フランジボルト M6 L10	1	
P90	ロックナット M8	5	
P91	エクステンションパイプ	1	
P92	ガスケット	1	

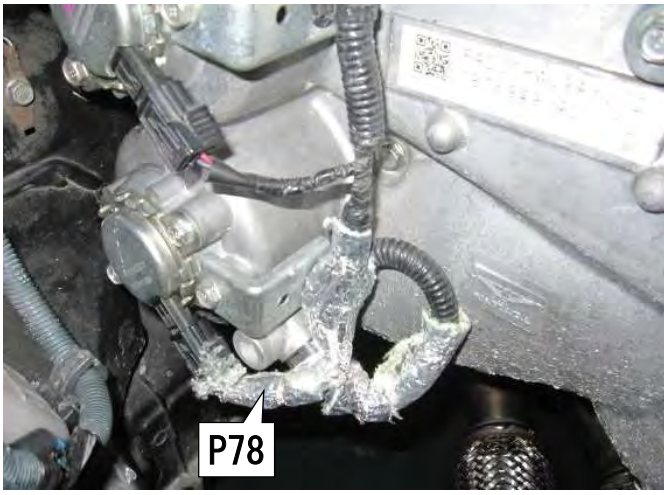
- (1) 遮熱シートを適度な大きさに切り、空燃比センサ配線に貼付け、ワイヤー等で固定する。
 ・ P78 遮熱シート 300mm×300mm ×1



- (2) 遮熱シートを適度な大きさに切り、カムポジションセンサ配線に貼付け、ワイヤーで固定する。
 ・ P78 遮熱シート 300mm×300mm ×1

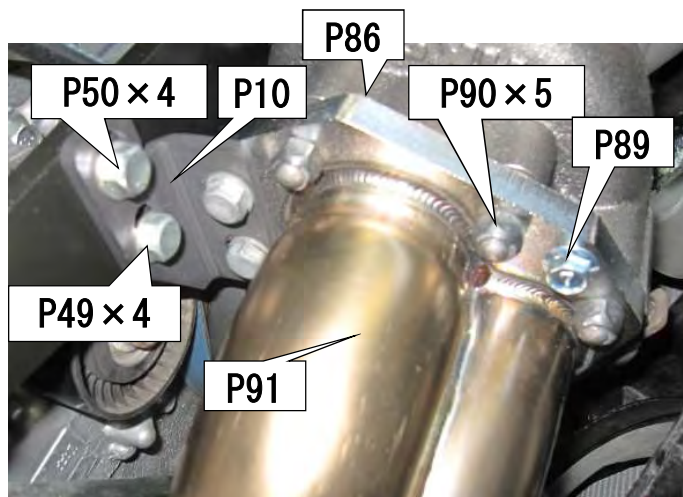
アドバイス

エクステンションパイプ近接部に遮熱シートを貼付け、熱害対策をする。
 必要に応じ、他の配線、樹脂部品の遮熱をする。



(3) タービンにガスケットを介してエクステンションパイプを取付け、ロックナットを仮付けする。

- ・ P86 ガスケット ×1
- ・ P90 ロックナット M8 ×5
- ・ P91 エクステンションパイプ ×1



(4) ターボチャージャブラケット No. 3 を仮付けする。

フランジボルト M6 L10 を仮付けしておく。

- ・ P10 ターボチャージャブラケット No. 3 ×1
- ・ P49 六角ボルト M8 L15 ×4
- ・ P50 プレートワッシャ M8 ×4
- ・ P89 フランジボルト M6 L10 ×1

アドバイス

フランジボルト M6 L10 は後の作業でのインシュレータ取付け用。

(5) エクステンションパイプのフロントパイプ側をガスケットを介してジョイントパイプに仮付けする。この際、5-(4) で取付けたエクステンションブラケットを共締めする。

- ・ P56 六角ボルト M10 L40 ×2
- ・ P57 プレートワッシャ M10 ×4
- ・ P58 六角ナット M10 ×2
- ・ P92 ガスケット ×1

(6) (3)～(5) で仮締めしてあった M8、M10 のボルト、ナットを本締めする。

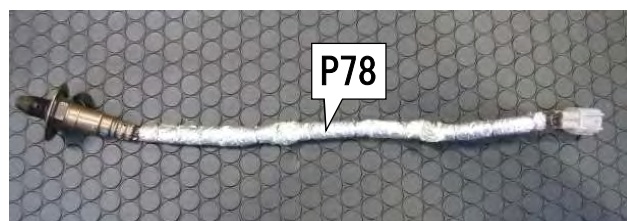
(7) 空燃比センサ、O₂センサに取り付けカプラを接続する。

8. エクステンションパイプの取付け（11001-KT004 の場合）

パーツリスト			
No.	品名	数量	
P10	ターボチャージャブラケット No. 3	1	
P49	六角ボルト M8 L15	4	
P50	プレートワッシャ M8	4	
P56	六角ボルト M10 L40	2	
P57	プレートワッシャ M10	4	
P58	六角ナット M10	2	
P78	遮熱シート 300mm×300mm	1	
P86	ガスケット	1	
P89	フランジボルト M6 L10	1	
P90	ロックナット M8	5	
P97	エクステンションパイプ	1	
P98	ガスケット	1	
P100	インシュレータ φ60用 L120mm	1	
P101	ホースバンド #40	2	

- (1) 遮熱シートを適度な大きさに切り、
空燃比センサ配線に貼付け、ワイヤー等で固定
する。

・ P78 遮熱シート 300mm×300mm ×1



- (2) 遮熱シートを適度な大きさに切り、カム
ポジションセンサ配線に貼付け、ワイヤーで
固定する。

・ P78 遮熱シート 300mm×300mm ×1

アドバイス

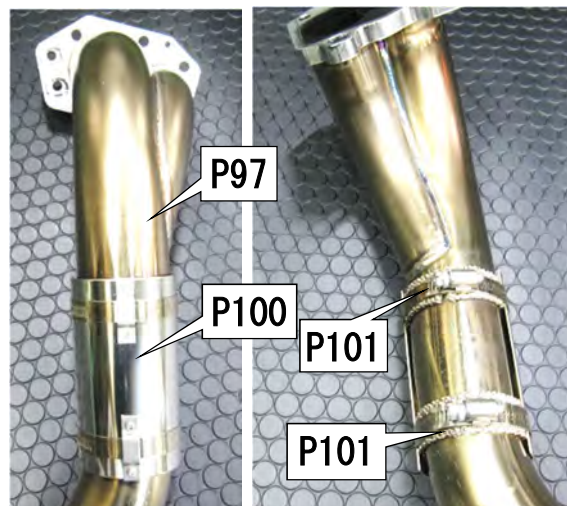
エクステンションパイプ近接部に遮熱シートを
貼付け、熱害対策をする。

必要に応じ、他の配線、樹脂部品の遮熱をする。



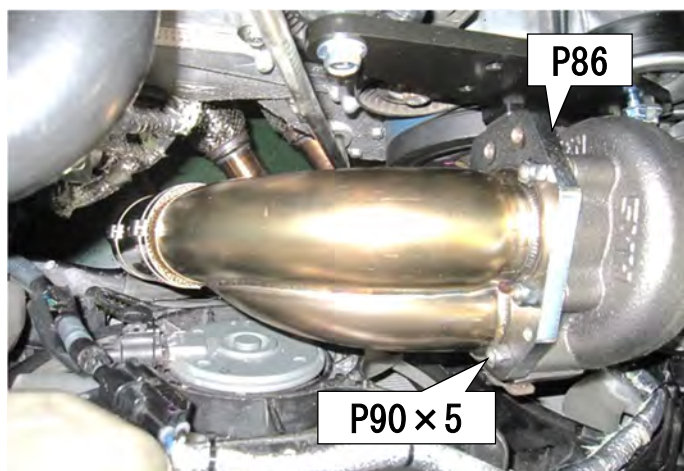
(3) インシュレータをエクステンションパイプに取付け、ホースバンドで固定する。

- ・ P97 エクステンションパイプ ×1
- ・ P100 インシュレータ φ60 用 L120mm×1
- ・ P101 ホースバンド #40 ×2



(4) タービンにガスケットを介して(3)で組立てたエクステンションパイプを取付け、ロックナットで締付ける。

- ・ P86 ガスケット ×1
- ・ P90 ロックナット M8 ×5



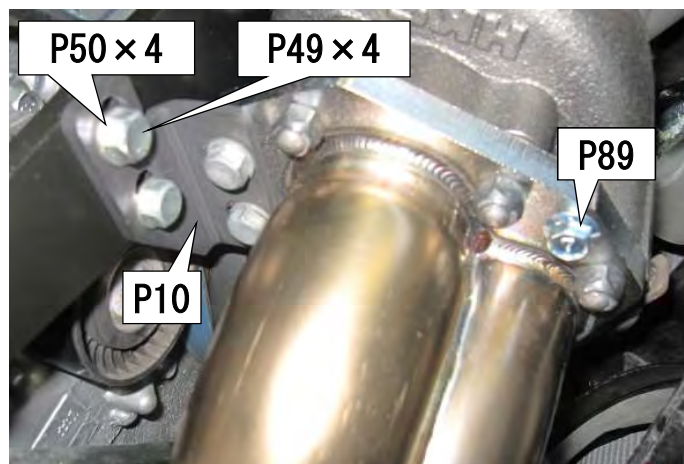
(5) ターボチャージャブラケット No. 3 を仮付けする。

フランジボルト M6 L10 を仮付けしておく。

- ・ P10 ターボチャージャブラケット No. 3 ×1
- ・ P49 六角ボルト M8 L15 ×4
- ・ P50 プレートワッシャ M8 ×4
- ・ P89 フランジボルト M6 L10 ×1

アドバイス

フランジボルト M6 L10 は後の作業でのインシュレータ取付け用。



(6) エクステンションパイプのフロントパイプ側をガスケットを介して仮付けする。

この際、5-(4)で取付けたエクステンションブラケットを共締めする。

- ・ P56 六角ボルト M10 L40 ×2
- ・ P57 プレートワッシャ M10 ×4
- ・ P58 六角ナット M10 ×2
- ・ P98 ガスケット ×1

(7) (4)～(6)で仮締めしてあった M8、M10 のボルト、ナットを本締めする。

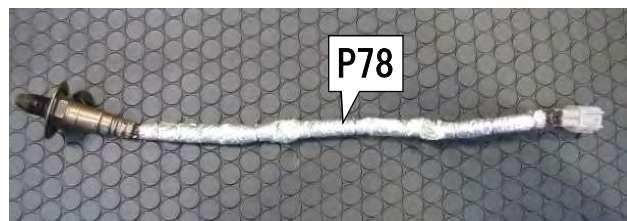
(8) 空燃比センサ、O₂センサに取付けカプラを接続する。

8. エクステンションパイプの取付け（11001-KT006 の場合）

パーツリスト		
No.	品名	数量
P10	ターボチャージャブラケット No. 3	1
P49	六角ボルト M8 L15	4
P50	プレートワッシャ M8	4
P56	六角ボルト M10 L40	2
P57	プレートワッシャ M10	4
P58	六角ナット M10	2
P78	遮熱シート 300mm×300mm	1
P86	ガスケット	1
P89	フランジボルト M6 L10	1
P90	ロックナット M8	5
P102	エクステンションパイプ	1
P103	ガスケット	1
P105	インシュレータ φ113 用 No. 1	1
P106	インシュレータ φ113 用 No. 2	1
P107	インシュレータ φ60 用 L120mm	1
P108	ホースバンド #64	2
P109	ホースバンド #40	2

(1) 遮熱シートを適度な大きさに切り、空燃比センサ配線に貼付け、ワイヤー等で固定する。

- ・ P78 遮熱シート 300mm×300mm ×1



(2) 遮熱シートを適度な大きさに切り、カムポジションセンサ配線に貼付け、ワイヤーで固定する。

- ・ P78 遮熱シート 300mm×300mm ×1

アドバイス

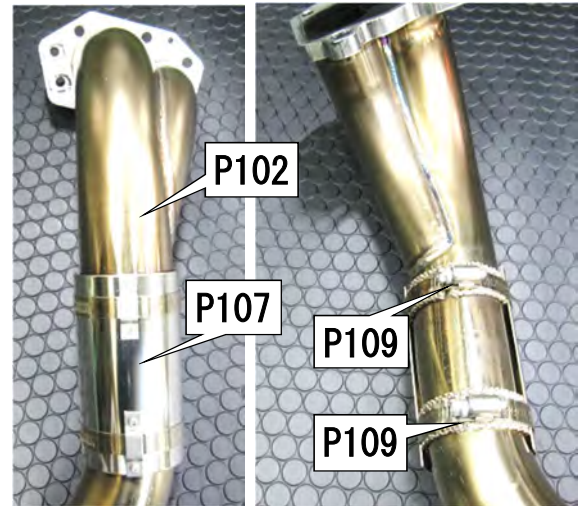
エクステンションパイプ近接部に遮熱シートを貼付け、熱害対策をする。

必要に応じ、他の配線、樹脂部品の遮熱をする。



(3) インシュレータをエクステンションパイプに取付け、ホースバンドで固定する。

- ・ P102 エクステンションパイプ ×1
- ・ P107 インシュレータ φ60 用 L120mm ×1
- ・ P109 ホースバンド #40 ×2

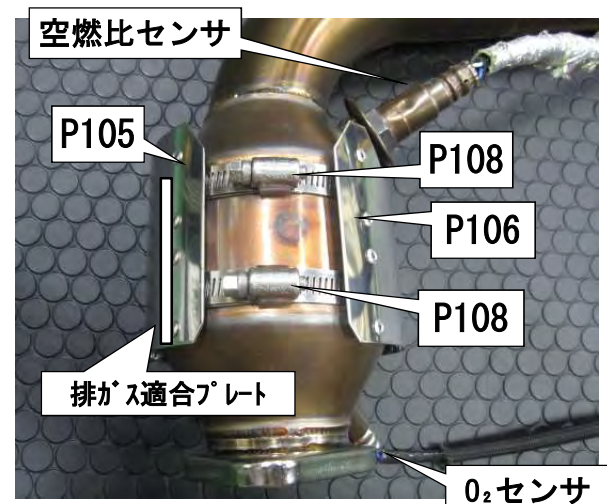
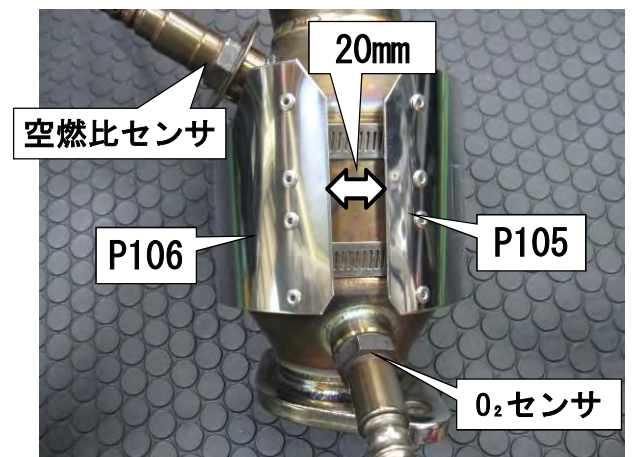
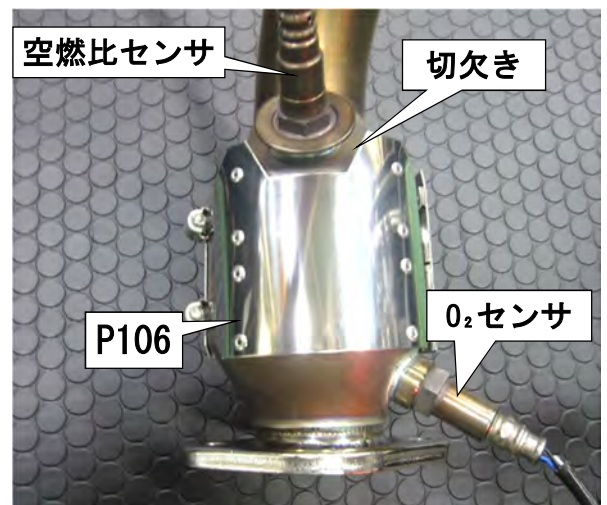


(4) 空燃比センサと O₂センサを取付け、インシュレータ No. 1 と No. 2 をエクステンションパイプのキャタライザ部に取付け、ホースバンドで固定する。

- ・ P105 インシュレータ φ113 用 No. 1 ×1
- ・ P106 インシュレータ φ113 用 No. 2 ×1
- ・ P108 ホースバンド #64 ×2

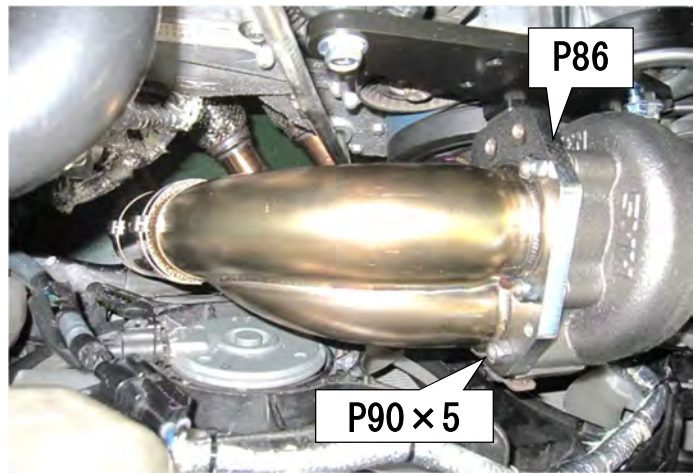
アドバイス

- ・ インシュレータ No. 2 の切欠き部と空燃比センサは 5mm 程度のクリアランスを確保し、干渉させない。
- ・ インシュレータ No. 1 と No. 2 の隙間を 20mm 程度確保し、O₂センサと干渉させない。
- ・ 2つのインシュレータとセンサが干渉すると異音の原因となるので、図を参照し正しく組み付ける。



(5) タービンにガスケットを介して(3)と(4)で組立てたエクステンションパイプを取付け、ロックナットで締付ける。

- ・ P86 ガスケット ×1
- ・ P90 ロックナット M8 ×5



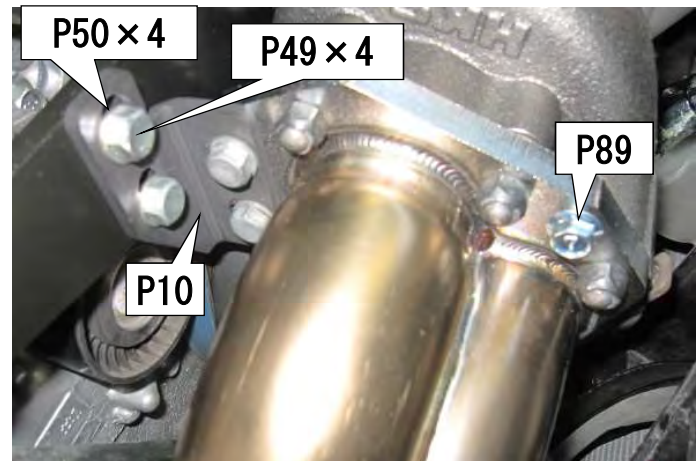
(6) ターボチャージャブラケット No. 3 を取付ける。

フランジボルト M6 L10 を仮付けしておく。

- ・ P10 ターボチャージャブラケット No. 3 ×1
- ・ P49 六角ボルト M8 L15 ×4
- ・ P50 プレートワッシャ M8 ×4
- ・ P89 フランジボルト M6 L10 ×1

アドバイス

フランジボルト M6 L10 は後の作業でのインシュレータ取付け用。



(7) エクステンションパイプのキャタライザ側にガスケットを介して仮付けする。

この際、5-(4)で取付けたエクステンションブラケットを共締めする。

- ・ P56 六角ボルト M10 L40 ×2
- ・ P57 プレートワッシャ M10 ×4
- ・ P58 六角ナット M10 ×2
- ・ P103 ガスケット ×1

(8) (5)～(7)で仮締めしてあったM8、M10のボルト、ナットを本締めする。

(9) 空燃比センサ、O₂センサに取付けカプラを接続する。

9. カムポジションセンサインシュレータの取付け

パーツリスト

No.	品名	数量
P45	スペーサ φ20 L=15mm(内径 M8)	2
P46	キャップボルト M6 L30	2
P47	プレートワッシャ M6 大径	2

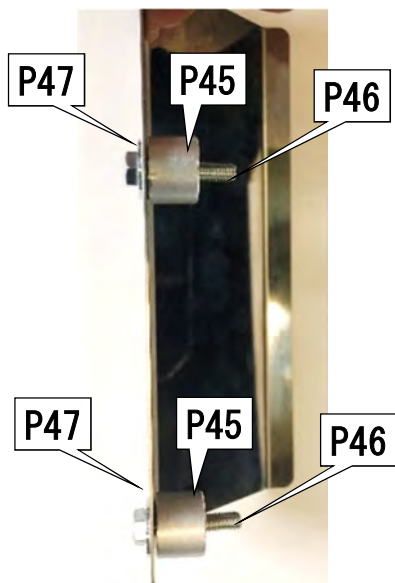
(1) カムポジション配線ブラケットのボルト (2 本) を取外し、インシュレータを配線ブラケットに共締めする。

- ・ P44 インシュレータ ×1
- ・ P45 スペーサ φ20 L=15mm(内径 M8) ×2
- ・ P46 キャップボルト M6 L30 ×2
- ・ P47 プレートワッシャ M6 大径 ×2



アドバイス

取付けの際、下図のように、仮組をしておくと取付けやすい。

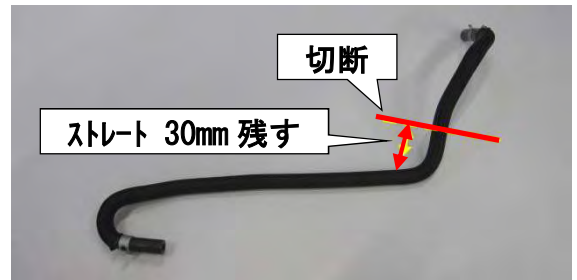


10. ターボチャージャインシュレータ部品等の取付け

パーツリスト

No.	品名	数量
P22	ホース φ8	1
P68	ホースクランプ 刻印 130	2
P75	タイラップ 中	3
P79	バンジョウボルト M10 P1.25	1
P80	銅ワッシャ φ12×φ17 上側	1
P81	銅ワッシャ φ10×φ17 下側	1
P82	水ラインパイプ	1
P89	フランジボルト M6 L10	2
P93	インシュレータ φ100 用 No. 1 (11001-AT008)	1
P94	インシュレータ φ100 用 No. 2 (11001-AT008)	1
P95	フランジボルト M6 L10 (11001-AT008)	4
P99 - 104	インシュレータ No. 1 (11001-KT004、11001-KT006)	1

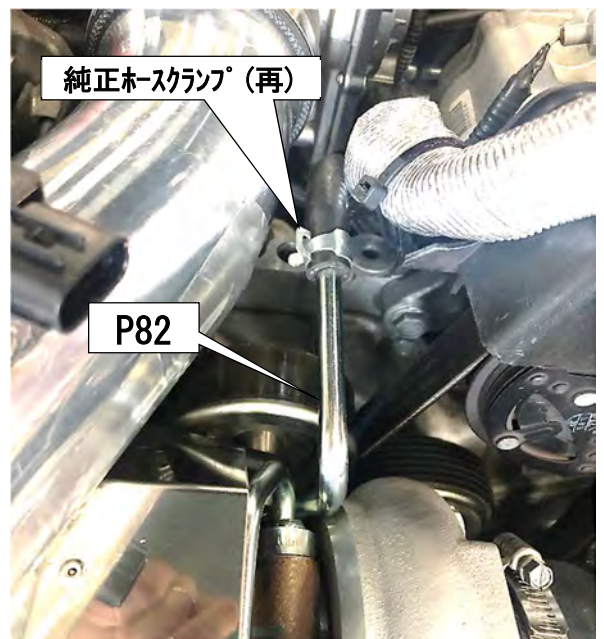
- (1) スロットル横からエンジン後部に繋がる水冷ホースのエンジン後部側を外し、図の位置で切断しインマニの下を通しタービン側にレイアウトする。



- (2) 水ラインパイプ上側に、(1)で切断したホースを接続する。

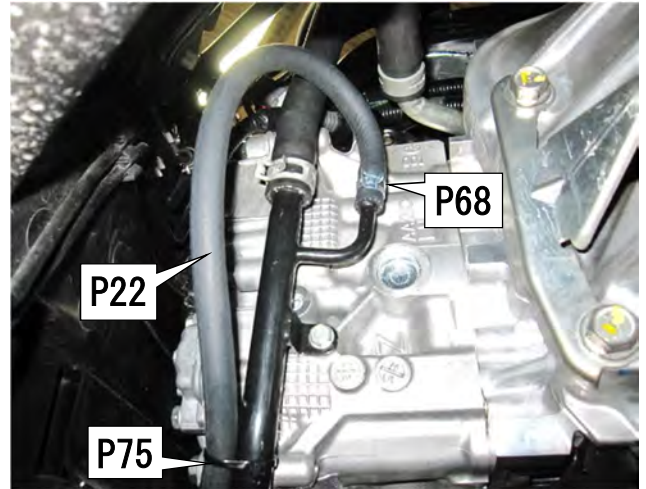
ホースクランプは純正再使用する。

- ・ P82 水ラインパイプ ×1



(3) ホースφ8を1200mmに切断し、(1)で外した水冷パイプに接続し、ホースクランプ刻印130を取付ける。

- ・P22 ホースφ8 ×1
- ・P68 ホースクランプ刻印130 ×2

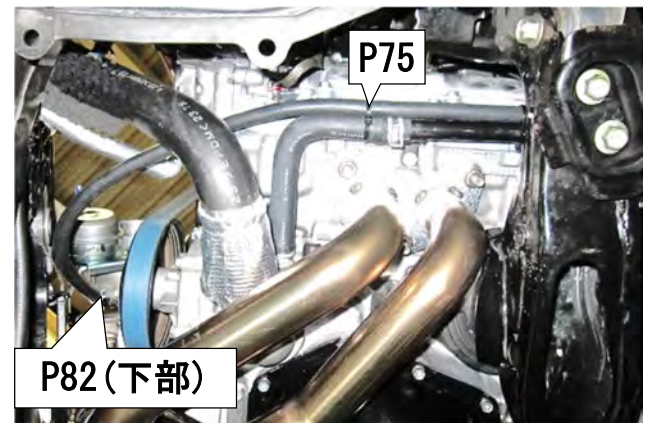


(4) タイラップでホースを固定する。

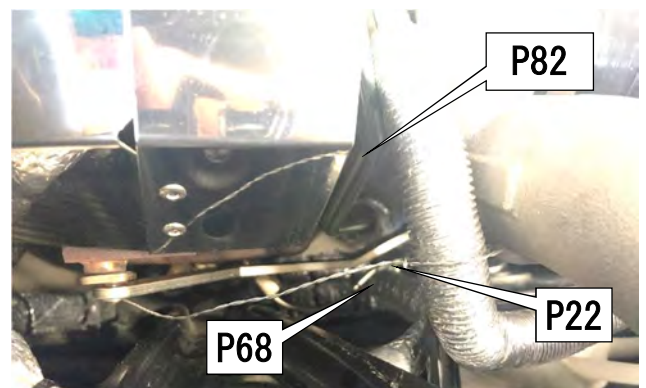
- ・P75 タイラップ中 ×3

アドバイス

ホースφ8がベルト等の回転部やエンジン、ファンシュラウドに接触しない様レイアウトする。



(5) (3) (4)で接続したホースφ8を水ラインパイプ下部に接続し、ホースクランプで固定する。

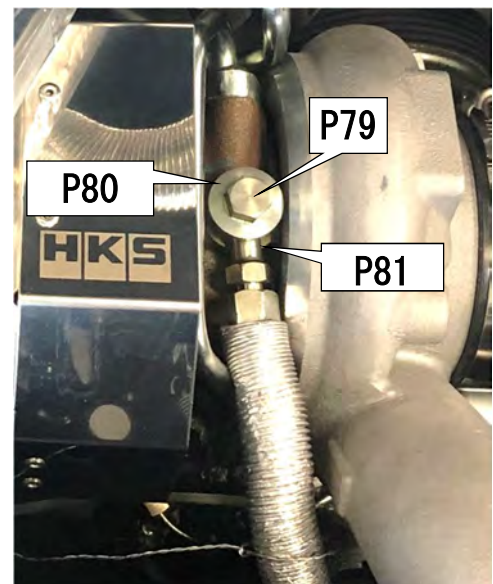


(6) 3で仮付けしたオイルインレットホースを図のようにレイアウトしターボチャージャ Assyに取付ける。

- ・P79 バンジョウボルト M10 P1.25 ×1
- ・P80 銅ワッシャ φ12×φ17上側 ×1
- ・P81 銅ワッシャ φ10×φ17下側 ×1

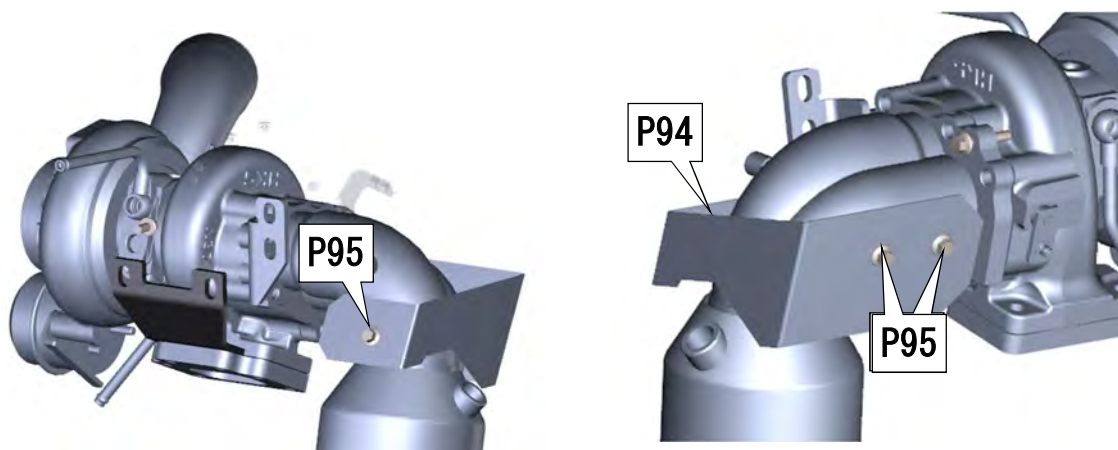
締付トルク N・m (kgf・m)

M10 : T=17~23 (1.8~2.4)



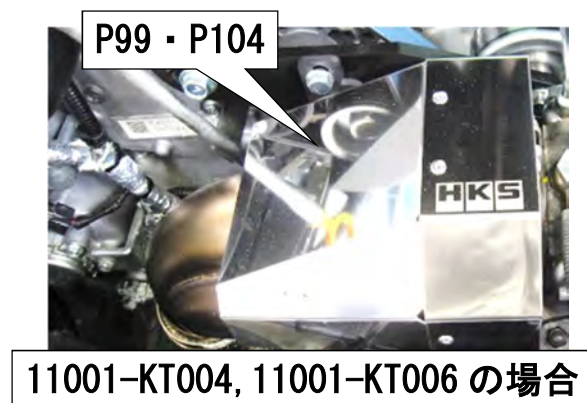
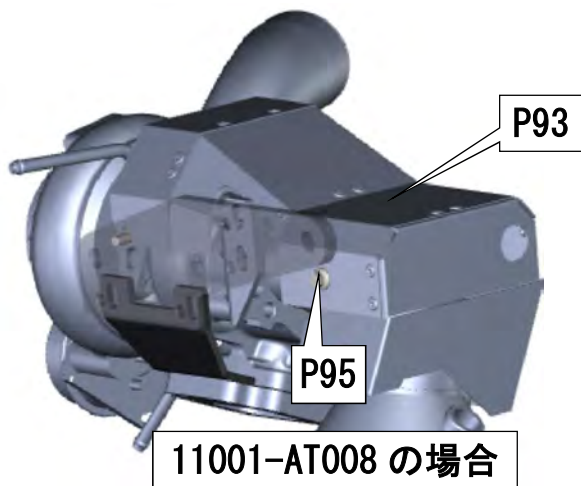
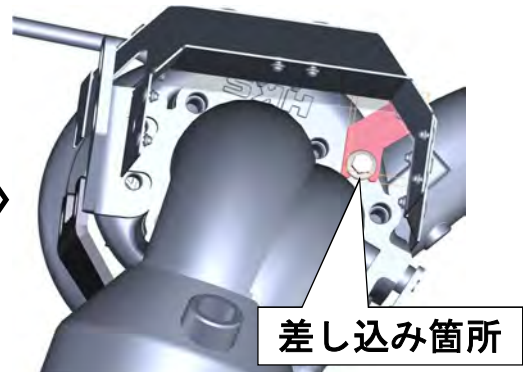
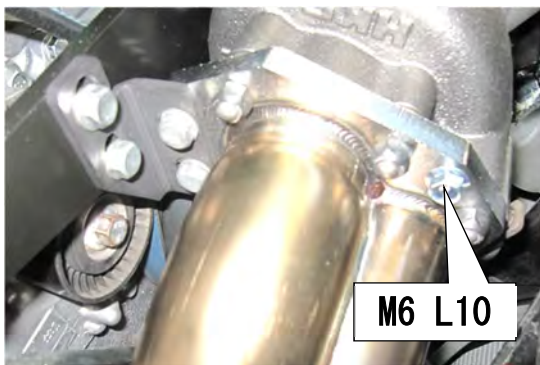
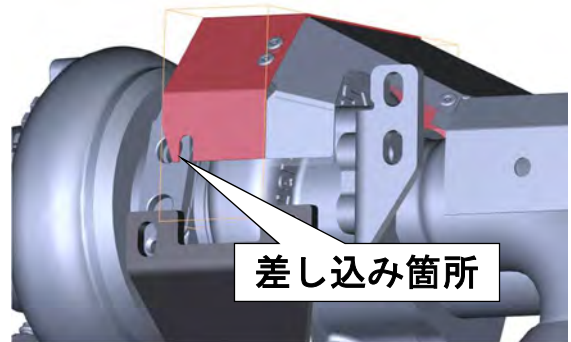
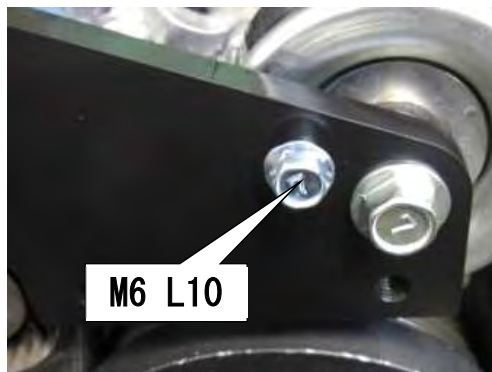
(7) 11001-AT008 の場合のみインシュレータ No. 2 を取付ける。

- ・ P94 インシュレータφ100用 No. 2 ×1
- ・ P95 フランジボルト M6 L10 ×3



(8) 4 と 8 で仮付けしたフランジボルト M6 L10 にインシュレータ No. 1 を差し込み、締付ける。

- ・ P93 インシュレータ φ100 用 No. 1 (11001-AT008 のみ) × 1
- ・ P95 フランジボルト M6 L10 (11001-AT008 のみ) × 1
- ・ P99 インシュレータ No. 1 (11001-KT004 のみ) × 1
- ・ P105 インシュレータ No. 1 (11001-KT006 のみ) × 1



1 1. エアクリーナ、サクシオンパイプの取付け

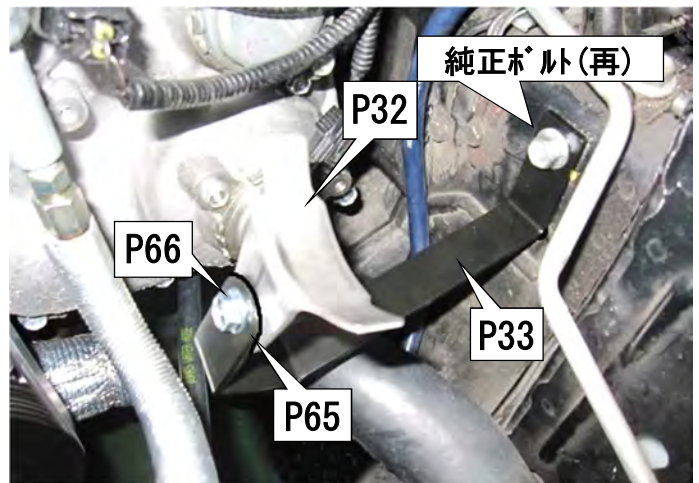
パーツリスト

No.	品名	数量
P3	サクシオンパイプφ80	1
P31	スーパーパワーフロー	1
P32	スーパ-パ-ワ-フ-ロ-ブ-ラ-ケ-ツ No. 1	1
P33	スーパ-パ-ワ-フ-ロ-ブ-ラ-ケ-ツ No. 2	1
P34	シリコンホース φ80	2
P37	ホースバンド #52	4
P41	ホース φ12	1
P42	ジョイントパイプ φ12	1
P65	フランジナット M6	1
P66	フランジボルト M6 L15	1
P69	ホースクランプ 刻印 180	2

(1) スーパーパワーフローブラケットNo. 1とNO. 2をフランジボルト M6 L15 とフランジナット M6 で仮止めし、純正ボルトでボディに仮付ける。

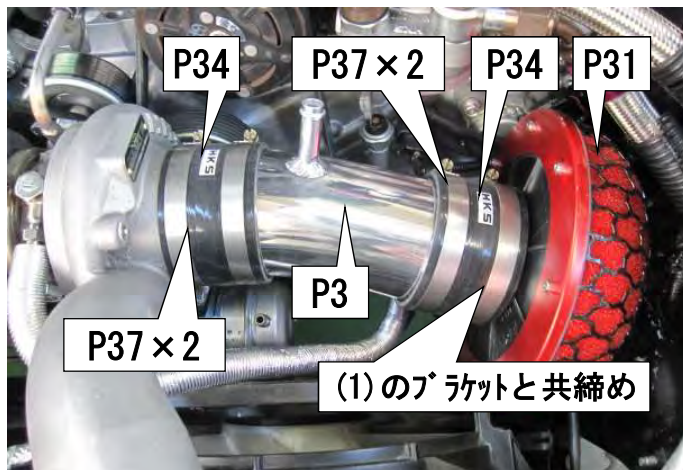
スーパーパワーフローをブラケットに乗せ、ブラケットの位置出しをし、本締めする。

- ・ P32 スーパ-パ-ワ-フ-ロ-ブ-ラ-ケ-ツ No. 1 ×1
- ・ P33 スーパ-パ-ワ-フ-ロ-ブ-ラ-ケ-ツ No. 2 ×1
- ・ P65 フランジナット M6 ×1
- ・ P66 フランジボルト M6 L15 ×1



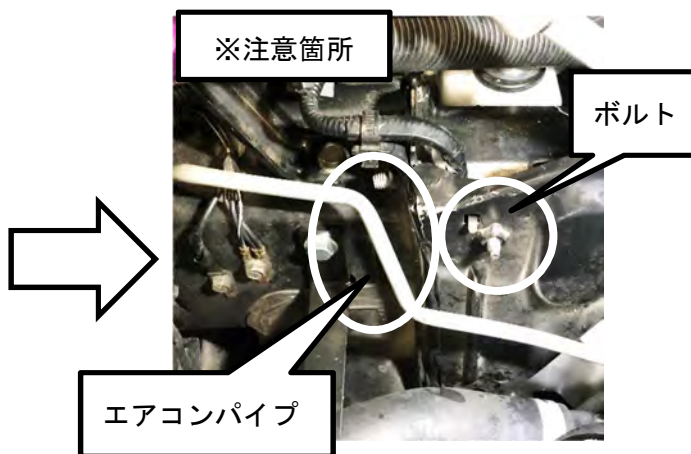
(2) スーパーパワーフローとサクションパイプを取付ける。

- ・ P3 サクションパイプφ80 ×1
- ・ P31 スーパーパワーフロー ×1
- ・ P34 シリコンホース φ80 ×2
- ・ P37 ホースバンド #52 ×4



アドバイス

スーパーパワーフローと周辺部品が干渉しない事を確認する。
干渉する場合はパワーフローブラケットの位置を調整する。



(3) ホースφ12を150mmに切断する。

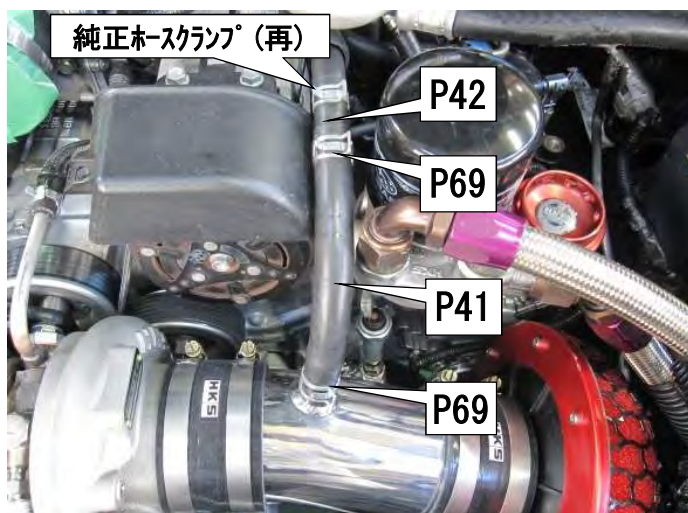
- ・ P41 ホースφ12 ×1

(4) 純正ブローバイホースのレイアウトをエアコンコンプレッサの左側に変更し、ジョイントパイプφ12と(3)で切断したホースφ12を取付ける。

- ・ P42 ジョイントパイプ φ12 ×1
- ・ P69 ホースクランプ 刻印180 ×1

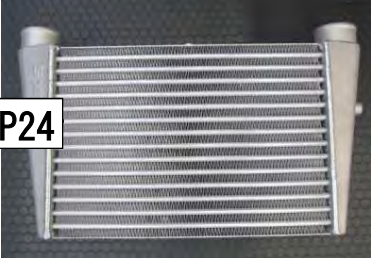





(5) (4)で取付けたホースφ12をサクションパイプに取付ける。

- ・ P69 ホースクランプ 刻印180 ×1



12. インタークーラの取付け

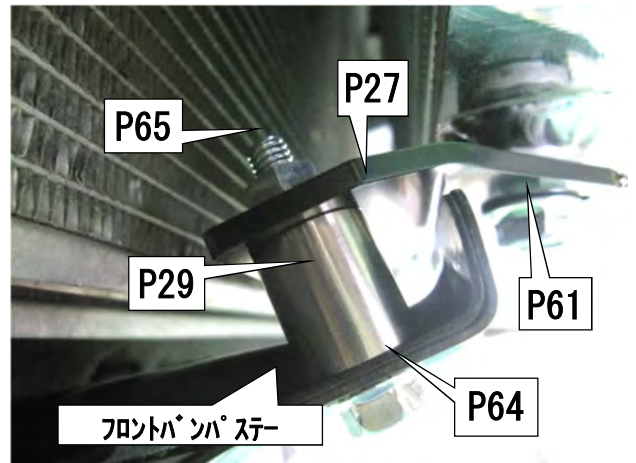
パーツリスト

		No.	品名	数量
		P24	インタークーラ	1
		P25	インタークーラブラケット No. 1	1
		P26	インタークーラブラケット No. 2	1
		P27	インタークーラブラケット No. 3	1
		P28	インタークーラブラケット No. 4	1
		P29	スペーサ φ16	2
		P61	フランジボルト M8 L10	1
		P62	フランジボルト M8 L15	5
		P63	フランジナット M8	2
		P64	フランジボルト M6 L35	2
		P65	フランジナット M6	2

(1) 2. で加工した純正フロントバンパラインホースメント SUB-ASSY とフロントバンパステーを取付ける。

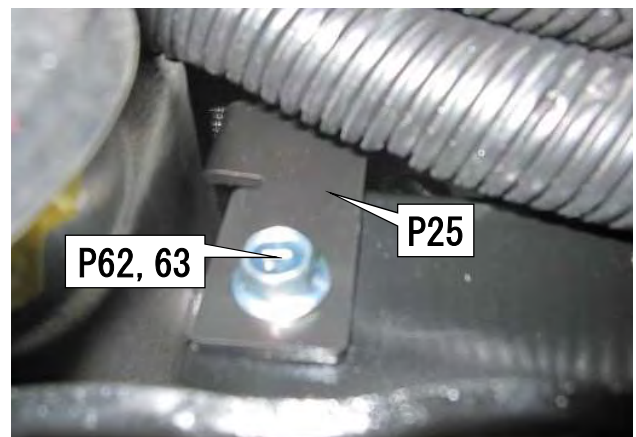
(2) フロントバンパステーとインタークーラブラケット No. 3 の間にスペーサφ16 を入れて取付ける。

- ・ P27 インタークーラブラケット No. 3 ×1
- ・ P29 スペーサ φ16×2
- ・ P61 フランジボルト M8 L10 ×1
- ・ P64 フランジボルト M6 L35 ×2
- ・ P65 フランジナット M6 ×2

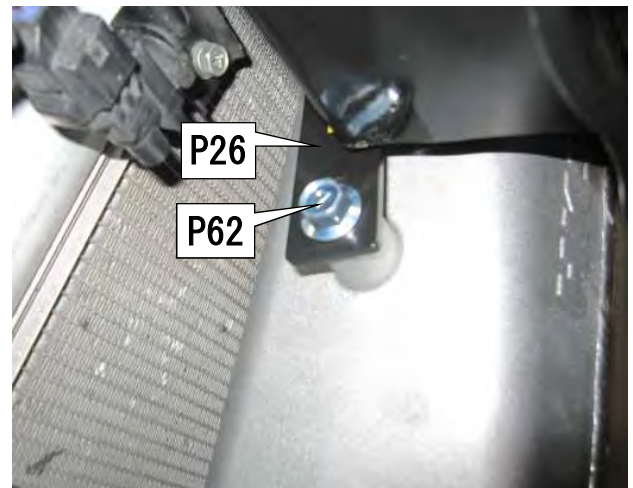
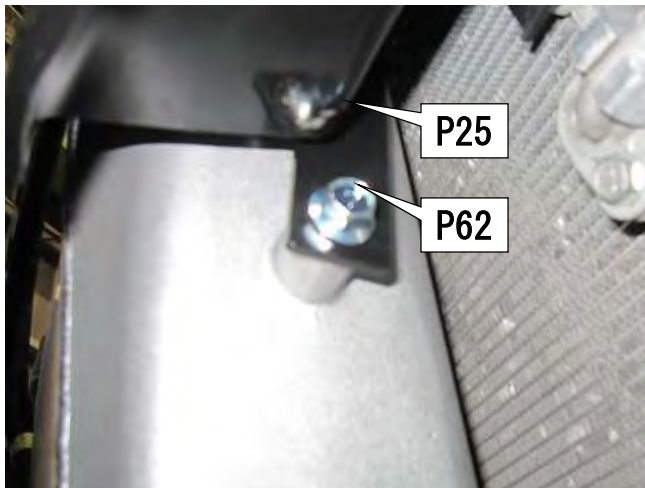
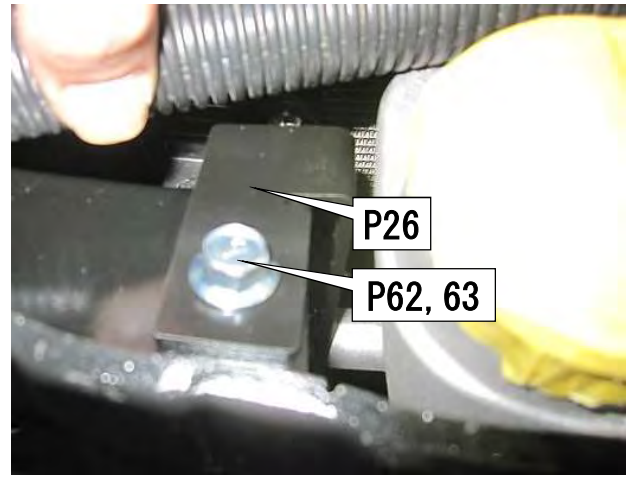


(3) フロントバンパラインホース SUB-ASSY の穴にインタークーラブラケット No. 1 と No. 2 を仮付けする。

- ・ P25 インタークーラブラケット No. 1 ×1
- ・ P26 インタークーラブラケット No. 2 ×1
- ・ P62 フランジボルト M8 L15 ×2
- ・ P63 フランジナット M8 ×2



- (4) インタークーラを仮付けする。
インタークーラ横はフランジボルト M8 L15 を
使用、下はフランジボルト M8 L10 を使用する。
- ・ P61 フランジボルト M8 L10 ×1
 - ・ P62 フランジボルト M8 L15 ×2



- (5) インタークーラが周辺部品と干渉しないよう、各ボルトを本締めする。

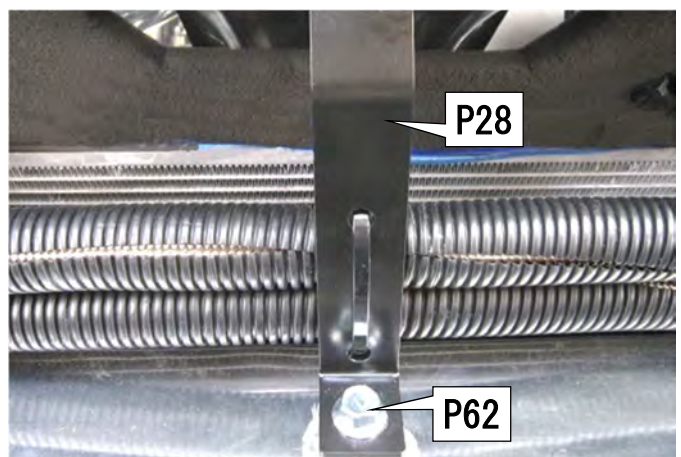
アドバイス

ブラケットのボルト穴は長穴になっているので、調整しインタークーラを水平に取付ける。

- (6) インタークーラブラケット No. 4 を取付ける。
- ・ P28 インタークーラブラケット No. 4 ×1
 - ・ P62 フランジボルト M8 L15 ×1

アドバイス

インタークーラブラケット No. 4 の中央部
穴は別売りのオイルクーラキットのホース
固定用として使用する。



13. パイピングの取付け

パーツリスト

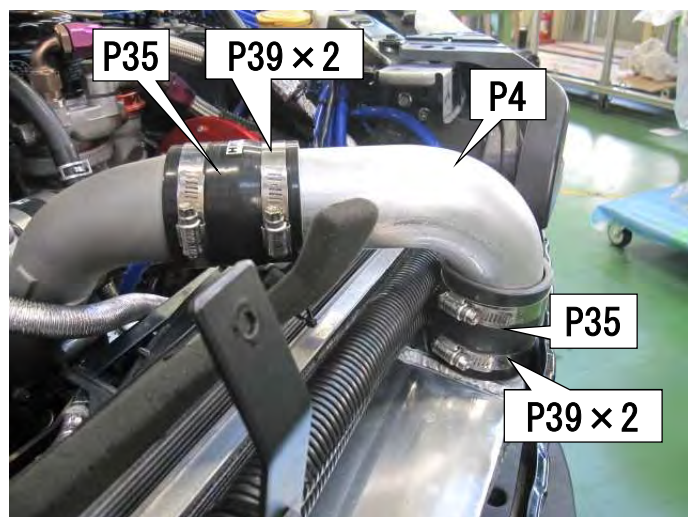
No.	品名	数量
P4	インタークーラパイプ φ60	2
P5	チャンバパイプ φ70	1
P35	シリコンホース φ60	4
P36	シリコンホース φ70	1
P38	ホースバンド #48	2
P39	ホースバンド#40	8
P73	ボタンボルト M4 L10	2
P78	遮熱シート 300mm×300mm	1

(1) インタークーラパイプを取付ける。

- ・ P4 インタークーラパイプ φ60 ×1
- ・ P35 シリコンホース φ60 ×2
- ・ P39 ホースバンド #40 ×4

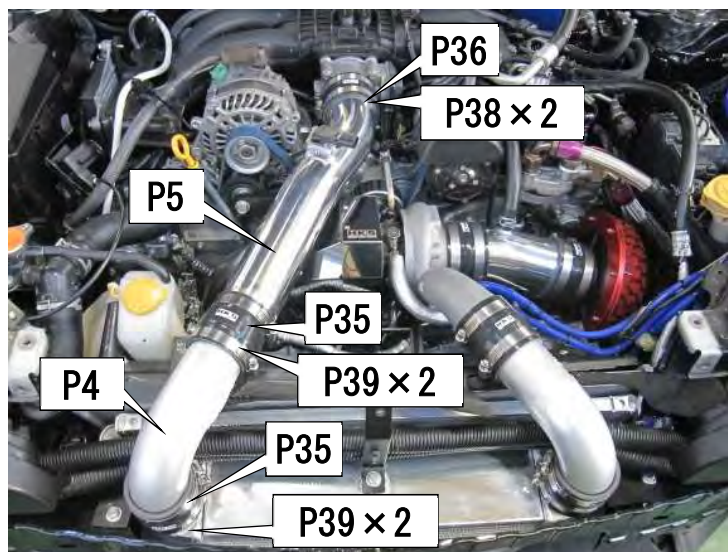
アドバイス

純正ラジエータパッキン（スポンジ）はパイプと干渉する部分を切取る。



(2) インタークーラパイプとチャンバパイプを取付ける。

- ・ P4 インタークーラパイプ φ60 ×1
- ・ P5 チャンバパイプ φ70 ×1
- ・ P35 シリコンホース φ60 ×2 (I/C側)
- ・ P36 シリコンホース φ70 ×1 (スロットル側)
- ・ P38 ホースバンド #48 ×2
- ・ P39 ホースバンド #40 ×4

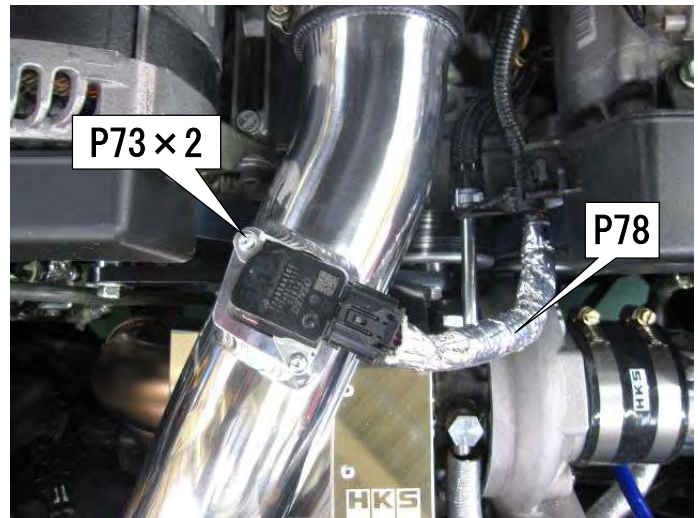


(3) 遮熱シートを適度な大きさに切り、エアフロセンサ配線に貼付け、ワイヤーで固定する。

・ P78 遮熱シート 300mm×300mm ×1

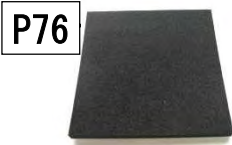
(4) エアフロセンサをボタンスボルト M4 L10 でチャンバパイプに取付ける。

・ P73 ボタンスボルト M4 L10 ×2



14. ノーマルパーツの取付け

整備要領書に従って作業を行う。

パーツリスト			
	No.	品名	数量
	P65	フランジナット M6	1
	P66	フランジボルト M6 L15	1
	P76	スポンジシート 50mm×50mm	2

- (1) ラジエータサポート裏側のパイプ近接部にスポンジシートを貼付ける。

・ P76 スポンジシート 50mm×50mm ×2

- (2) ラジエータサポートを取付ける。

アドバイス

ラジエータサポートとパイプが干渉しない事を確認する。

干渉する場合には各パイプの位置を調整する。

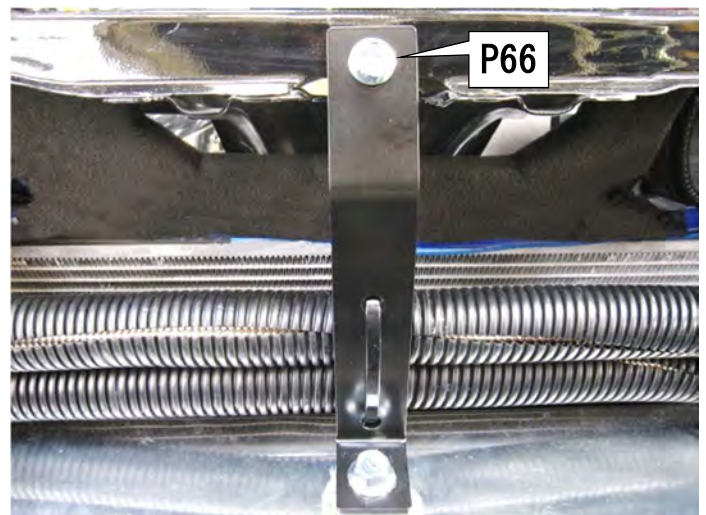


- (3) 12(6) で取付けたインタークーラブラケット No. 4 とラジエータサポートに取付ける。

・ P66 フランジボルト M6 L15

アドバイス

インタークーラ、パイプ類の干渉が無いか確認し、干渉する場合は各ボルトを緩め、取付けし直す。



- (4) 2(2) でフロントバンパ リンホース SUB-ASSY に取付けたボルトにホーンを取付ける。

・ P65 フランジナット M6 ×1

アドバイス

図は別売りのオイルクーラー装着車。

各部干渉しないよう取付ける。



(5) フードサポートロッドのスポンジを図の位置に移動する。



(6) ⑧フロントバンパステーブラケットと
⑦フロントバンパカバーを取付ける。

(7) ③フロントバンパ エネルギアブソーバを取付ける。

(8) ②フロントバンパを取付ける。

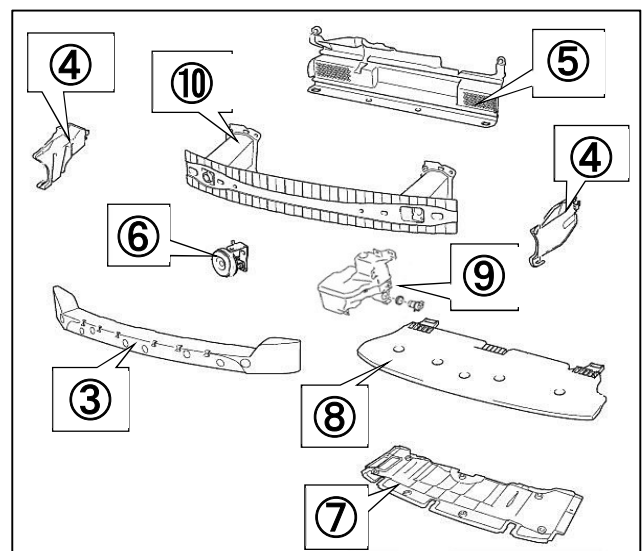
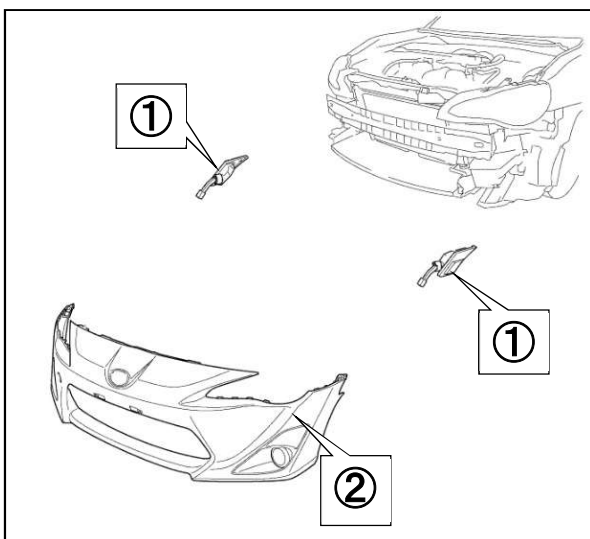
(9) ①サイドターンシグナルランプを左右取付ける。



(10) エンジンアンダーカバーを取付ける。

(11) バッテリーのマイナス端子を取付ける。

(12) エンジンオイル、クーラントを入れる。



15. 取付け後の確認

○付属の遮熱シートは、必要に応じターボチャージャ、排気系部品周辺の高温となる部分に貼付けてください。

- ・ P77, P78 遮熱シート

○付属のタイラップとスポンジシートは、必要に応じ各部品の干渉防止に使用してください。

- ・ P74, P75 タイラップ
- ・ P76 スポンジシート

○取付け作業終了後、取扱説明書の「取付け後の確認」に従って確認作業を行ってください。

16. 自動車排出ガス試験結果証明書について

○製品に付属されている自動車排出ガス試験結果証明書は車検等で提示が必要となる場合がありますので、車検証と一緒に大切に保管してください。

11001-AT008 ボルトオンターボ プロキット GT4135 排出ガス試験結果証明書対応車種

メーカー	車名	グレード	車両型式	E/G 型式	年式	タイヤサイズ	最終減速比 及び変速機	証明書 No
トヨタ	86	GT, GT Limited	DBA-ZN6	FA20	2012/4~2016/7	215/45R17	4.100、MT	2100025
トヨタ	86	GT, GT Limited	DBA-ZN6	FA20	2016/8~2019/3	215/45R17	4.300、MT	2000360
トヨタ	86	GT, GT Limited	4BA-ZN6	FA20	2019/4~2021/10	215/45R17	4.300、MT	2100241
トヨタ	86	GT, GT Limited	DBA-ZN6	FA20	2012/4~2019/3	215/45R17	4.100、AT	2100148
トヨタ	86	GT, GT Limited	4BA-ZN6	FA20	2019/4~2021/10	215/45R17	4.100、AT	2200282
スバル	BRZ	R, S, ts, tsGT	DBA-ZC6	FA20	2012/3~2016/7	215/45R17	4.100、MT	2100072
スバル	BRZ	R, S, GT, STI	DBA-ZC6	FA20	2016/8~2019/3	215/45R17	4.300、MT	2200103
スバル	BRZ	R, RA, S, GT, STI	4BA-ZC6	FA20	2019/4~2020/11	215/45R17	4.300、MT	2100292
スバル	BRZ	R, S, ts, GT, STI	DBA-ZC6	FA20	2012/4~2019/3	215/45R17	4.100、AT	2200047
スバル	BRZ	R, S, GT, STI	4BA-ZC6	FA20	2019/4~2020/11	215/45R17	4.100、AT	2200184

※対応車種は 2023 年 8 月現在のものになります。



株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山 7181
<https://www.hks-power.co.jp/>